



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(令和2年6月調査分)

《景気の現状判断DI》

	令和2年3月	令和2年6月	前回調査比
茨城県	20.6	23.8	+3.2
県北地域	20.6	24.6	+4.0
県央地域	18.5	16.8	△1.7
鹿行地域	22.4	24.6	+2.2
県南地域	20.9	26.4	+5.5
県西地域	20.6	26.8	+6.2

《景気の先行き判断DI》

	令和2年3月	令和2年6月	前回調査比
茨城県	23.6	41.5	+17.9
県北地域	23.7	38.1	+14.4
県央地域	24.6	45.5	+20.9
鹿行地域	20.2	37.5	+17.3
県南地域	23.2	42.5	+19.3
県西地域	26.3	44.2	+17.9

令和2年7月

茨城県政策企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先
茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632
公式サイトのURL
<https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、大子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

業 種 名	具 体 例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業、建設業、金融業等	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	281 人	93.7%
県北地域	60 人	59 人	98.3%
県央地域	60 人	55 人	91.7%
鹿行地域	60 人	58 人	96.7%
県南地域	60 人	53 人	88.3%
県西地域	60 人	56 人	93.3%

4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

5 調査月及び調査期間

調査月は6月、9月、12月及び3月の年4回である。令和2年6月調査の調査期間は、令和2年6月5日から20日までである。

6 利用上の注意

- (1) D I (Diffusion Index) は景気の方性（景気が上向きか下向きか）をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じて、景気の方性をみるための指標(DI)を算出している。

回答区分	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例
回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は、

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、
 $(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5$ となる。

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は50(=0.5点×100%)となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

Ⅱ 調査結果の概要

1 全県の動向

(1)景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは23.8となった。令和2年3月調査（以下、「前回調査」という。）より3.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を7期連続で下回った。

表1-1 景気の現状判断DI

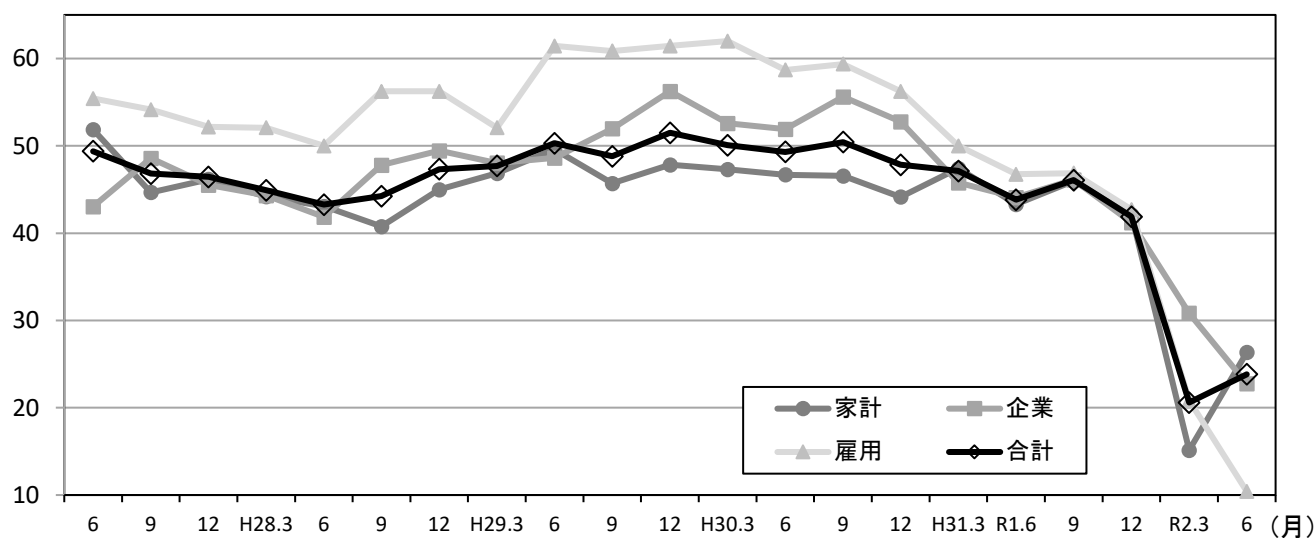
分野	調査年月	令和元年 6月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月
合計		43.8	46.1	41.9	20.6	23.8
家計動向関連		43.3	46.0	42.1	15.1	26.3
小売関連		41.5	44.3	36.5	20.5	35.2
飲食関連		44.8	40.9	39.3	16.7	17.5
サービス関連		44.7	49.0	47.3	9.0	19.7
住宅関連		40.6	43.8	46.9	25.0	39.3
企業動向関連		44.1	46.1	41.2	30.8	22.8
農林水産業		34.4	57.1	40.6	42.9	21.4
製造業		44.7	42.7	38.5	29.1	24.0
非製造業		45.6	48.6	45.0	30.9	21.3
雇用関連		46.7	46.9	42.7	20.8	10.4

表1-2 回答構成比

	令和元年 6月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月
良くなっている	1.8%	1.0%	1.1%	1.8%	3.2%
やや良くなっている	10.9%	18.1%	12.0%	4.6%	12.5%
変わらない	54.9%	50.5%	48.1%	14.8%	11.4%
やや悪くなっている	25.7%	24.7%	31.1%	32.0%	22.4%
悪くなっている	6.7%	5.6%	7.8%	46.8%	50.5%

図1-1 景気の現状判断DIの推移

(DI)



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは41.5となった。前回調査より17.9ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を7期連続で下回った。

表1-3 景気の先行き判断DI

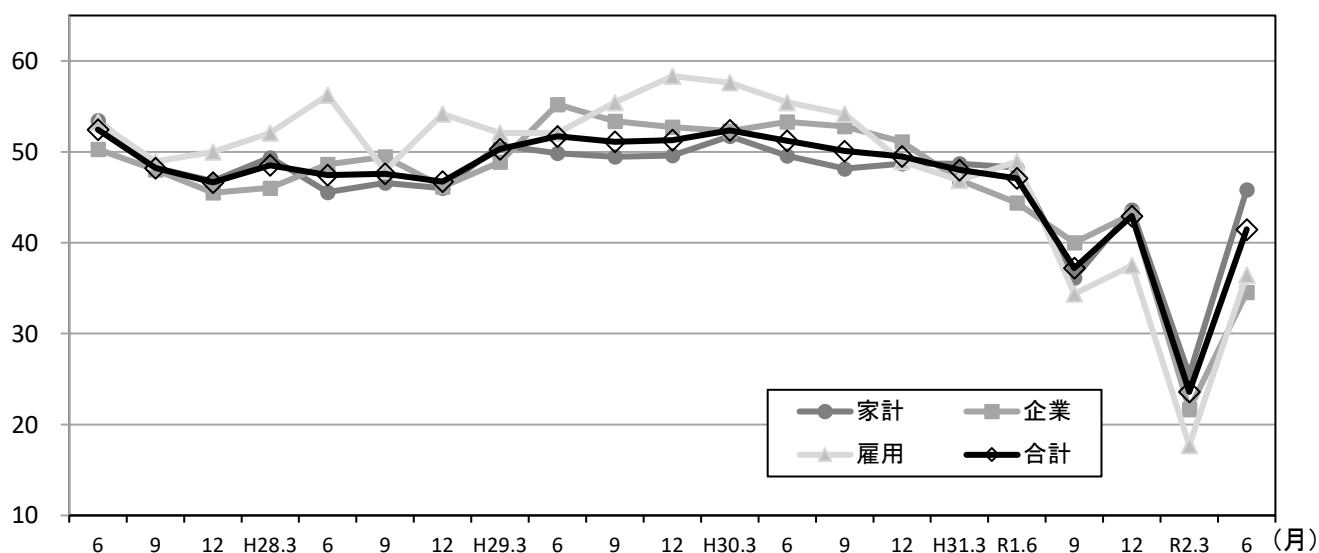
分野	調査年月	令和元年 6月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月
合計		47.1	37.2	42.9	23.6	41.5
家計動向関連		48.3	36.1	43.6	25.4	45.8
小売関連		46.9	29.5	42.3	20.8	43.6
飲食関連		46.9	35.2	45.2	40.5	57.5
サービス関連		49.0	42.5	43.6	26.3	45.7
住宅関連		56.3	31.3	50.0	15.6	35.7
企業動向関連		44.4	40.0	43.1	21.7	34.6
農林水産業		50.0	46.4	37.5	35.7	35.7
製造業		43.1	38.0	42.7	20.9	38.5
非製造業		44.9	41.4	45.0	19.9	28.7
雇用関連		48.9	34.4	37.5	17.7	36.5

表1-4 回答構成比

	令和元年 6月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月
良くなっている	2.1%	1.4%	0.0%	0.7%	2.8%
やや良くなっている	19.7%	9.8%	12.4%	11.6%	26.3%
変わらない	50.4%	38.3%	53.7%	14.8%	27.8%
やや悪くなっている	20.1%	37.3%	27.2%	27.1%	19.9%
悪くなっている	7.7%	13.2%	6.7%	45.8%	23.1%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移

(DI)



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは24.6となった。前回調査より4.0ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を7期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和元年	令和元年	令和元年	令和2年	令和2年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		43.4	46.1	45.5	20.6	24.6
家計動向関連		44.1	46.3	46.3	16.9	22.9
企業動向関連		40.8	43.4	44.4	27.6	28.9
雇用関連		50.0	56.3	43.8	18.8	18.8

表2-2 回答構成比

	令和元年	令和元年	令和元年	令和2年	令和2年
	6月	9月	12月	3月	6月
良くなっている	5.3%	1.8%	0.0%	0.0%	3.4%
やや良くなっている	10.5%	15.8%	16.1%	8.8%	13.6%
変わらない	47.4%	50.9%	55.4%	14.0%	8.5%
やや悪くなっている	26.3%	28.1%	23.2%	28.1%	27.1%
悪くなっている	10.5%	3.5%	5.4%	49.1%	47.5%

② 県央地域

景気の現状判断DIは16.8となった。前回調査より1.7ポイント低下して、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和元年	令和元年	令和元年	令和2年	令和2年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		43.2	50.9	42.5	18.5	16.8
家計動向関連		44.7	52.0	43.8	10.1	21.4
企業動向関連		35.9	48.4	39.1	35.9	6.7
雇用関連		55.0	50.0	45.0	25.0	15.0

表2-4 回答構成比

	令和元年	令和元年	令和元年	令和2年	令和2年
	6月	9月	12月	3月	6月
良くなっている	0.0%	3.4%	3.5%	3.4%	3.6%
やや良くなっている	13.6%	27.6%	8.8%	5.2%	9.1%
変わらない	47.5%	41.4%	47.4%	8.6%	3.6%
やや悪くなっている	37.3%	24.1%	35.1%	27.6%	18.2%
悪くなっている	1.7%	3.4%	5.3%	55.2%	65.5%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは24.6となった。前回調査より2.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を8期連続で下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

調査年月	令和元年 6月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月
分野					
合計	43.8	41.2	42.7	22.4	24.6
家計動向関連	43.9	39.4	41.9	20.5	30.9
企業動向関連	43.1	43.4	43.4	27.6	18.4
雇用関連	45.0	45.0	45.0	15.0	5.0

表2-6 回答構成比

	令和元年 6月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月
良くなっている	1.8%	0.0%	1.7%	1.8%	3.4%
やや良くなっている	7.1%	14.0%	15.5%	3.5%	12.1%
変わらない	58.9%	47.4%	44.8%	15.8%	12.1%
やや悪くなっている	28.6%	28.1%	27.6%	40.4%	24.1%
悪くなっている	3.6%	10.5%	10.3%	38.6%	48.3%

② 県南地域

景気の現状判断DIは26.4となった。前回調査より5.5ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を5期連続で下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

調査年月	令和元年 6月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月
分野					
合計	48.7	46.6	40.7	20.9	26.4
家計動向関連	47.8	47.8	40.8	14.8	28.2
企業動向関連	51.3	46.1	39.5	30.6	27.9
雇用関連	45.0	40.0	45.0	25.0	10.0

表2-8 回答構成比

	令和元年 6月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月
良くなっている	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	3.8%
やや良くなっている	15.5%	13.8%	13.0%	3.6%	9.4%
変わらない	65.5%	63.8%	44.4%	16.4%	18.9%
やや悪くなっている	17.2%	17.2%	35.2%	32.7%	24.5%
悪くなっている	1.7%	5.2%	7.4%	45.5%	43.4%

③ 県西地域

景気の現状判断DIは26.8となった。前回調査より6.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を25期連続で下回った。

表2-9 景気の現状判断DI

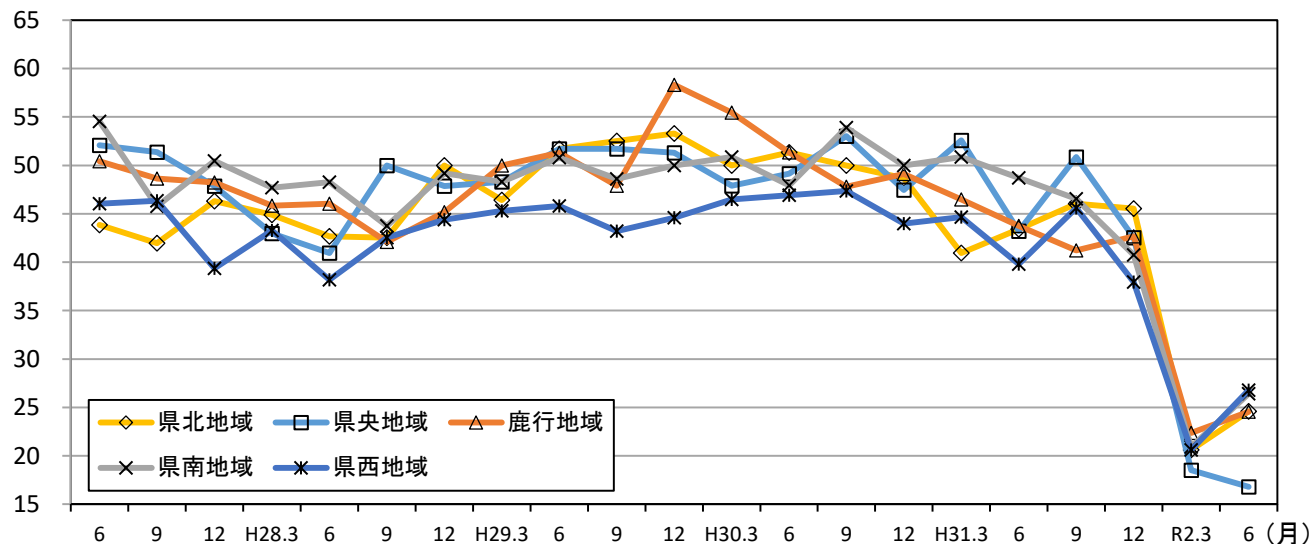
分野	調査年月	令和元年	令和元年	令和元年	令和2年	令和2年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		39.8	45.6	37.9	20.6	26.8
家計動向関連		35.6	43.6	37.5	14.0	28.9
企業動向関連		48.5	50.0	39.5	33.3	28.9
雇用関連		37.5	45.0	35.0	20.0	5.0

表2-10 回答構成比

	令和元年	令和元年	令和元年	令和2年	令和2年
	6月	9月	12月	3月	6月
良くなっている	1.9%	0.0%	0.0%	1.8%	1.8%
やや良くなっている	7.4%	19.3%	6.9%	1.8%	17.9%
変わらない	55.6%	49.1%	48.3%	19.3%	14.3%
やや悪くなっている	18.5%	26.3%	34.5%	31.6%	17.9%
悪くなっている	16.7%	5.3%	10.3%	45.6%	48.2%

図2-1 地域別現状判断DIの推移

(DI)



	27.6	27.9	27.12	28.3	28.6	28.9	28.12	29.3	29.6	29.9	29.12	30.3	30.6	30.9	30.12	31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6月
県全体	49.4	46.8	46.5	44.9	43.3	44.2	47.3	47.7	50.3	48.8	51.5	50.1	49.3	50.4	47.8	47.1	43.8	46.1	41.9	20.6	23.8
県北	43.9	42.0	46.3	44.9	42.7	42.5	50.0	46.4	51.7	52.5	53.3	50.0	51.3	50.0	48.7	40.9	43.4	46.1	45.5	20.6	24.6
県央	52.1	51.4	47.8	43.0	40.9	50.0	47.8	48.3	51.7	51.7	51.3	47.9	49.2	53.0	47.5	52.6	43.2	50.9	42.5	18.5	16.8
鹿行	50.4	48.6	48.2	45.8	46.1	42.1	45.2	50.0	51.3	47.9	58.3	55.5	51.3	47.8	49.1	46.5	43.8	41.2	42.7	22.4	24.6
県南	54.5	45.8	50.5	47.7	48.3	43.8	49.2	48.3	50.8	48.6	50.0	50.9	47.9	53.9	50.0	50.9	48.7	46.6	40.7	20.9	26.4
県西	46.1	46.4	39.4	43.3	38.2	42.5	44.4	45.3	45.8	43.2	44.6	46.5	46.9	47.4	44.0	44.6	39.8	45.6	37.9	20.6	26.8
全国	51.5	48.9	47.8	43.1	41.9	46.3	49.8	48.6	50.8	50.9	52.7	49.8	49.0	48.2	46.6	44.9	44.1	46.6	39.7	14.2	38.8(季節調整値)
	51.0	47.5	48.7	45.4	41.2	44.8	51.2	50.6	49.9	49.6	53.9	51.7	48.2	47.3	48.2	46.7	43.3	45.7	40.7	15.9	38.0(原数値)

(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

景気の先行き判断DIは38.1となった。前回調査より14.4ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を6期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	令和元年 6月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月
合計		47.4	40.8	46.9	23.7	38.1
	家計動向関連	50.0	41.9	50.7	27.2	40.3
	企業動向関連	40.8	40.8	41.7	17.1	34.2
	雇用関連	56.3	31.3	37.5	25.0	37.5

表2-12 回答構成比

	令和元年 6月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月
良くなっている	3.5%	3.5%	0.0%	0.0%	3.4%
やや良くなっている	21.1%	8.8%	14.3%	10.5%	20.3%
変わらない	45.6%	45.6%	62.5%	17.5%	28.8%
やや悪くなっている	21.1%	31.6%	19.6%	28.1%	20.3%
悪くなっている	8.8%	10.5%	3.6%	43.9%	27.1%

② 県央地域

景気の先行き判断DIは45.5となった。前回調査より20.9ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を5期連続で下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	令和元年 6月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月
合計		49.6	35.3	42.5	24.6	45.5
	家計動向関連	51.3	32.4	42.4	25.0	56.4
	企業動向関連	42.2	40.6	45.3	25.0	25.0
	雇用関連	60.0	40.0	35.0	20.0	30.0

表2-14 回答構成比

	令和元年 6月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月
良くなっている	3.4%	1.7%	0.0%	3.4%	5.5%
やや良くなっている	25.4%	13.8%	8.8%	12.1%	32.7%
変わらない	42.4%	25.9%	56.1%	12.1%	25.5%
やや悪くなっている	23.7%	41.4%	31.6%	24.1%	10.9%
悪くなっている	5.1%	17.2%	3.5%	48.3%	25.5%

③ 鹿行地域

景気の先行き判断D Iは37.5となった。前回調査より17.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を7期連続で下回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	令和元年	令和元年	令和元年	令和2年	令和2年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		46.0	34.2	43.1	20.2	37.5
	家計動向関連	47.7	31.8	42.6	22.0	41.9
	企業動向関連	41.7	38.2	47.4	19.7	32.9
	雇用関連	50.0	35.0	30.0	10.0	25.0

表2-16 回答構成比

	令和元年	令和元年	令和元年	令和2年	令和2年
	6月	9月	12月	3月	6月
良くなっている	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
やや良くなっている	12.5%	3.5%	15.5%	8.8%	22.4%
変わらない	57.1%	36.8%	50.0%	12.3%	27.6%
やや悪くなっている	25.0%	45.6%	25.9%	29.8%	27.6%
悪くなっている	3.6%	12.3%	8.6%	49.1%	22.4%

② 県南地域

景気の先行き判断D Iは42.5となった。前回調査より19.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を4期連続で下回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	令和元年	令和元年	令和元年	令和2年	令和2年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		50.0	38.4	39.4	23.2	42.5
	家計動向関連	52.9	37.5	42.5	26.6	45.2
	企業動向関連	46.1	40.8	34.2	18.1	36.8
	雇用関連	45.0	35.0	40.0	20.0	45.0

表2-18 回答構成比

	令和元年	令和元年	令和元年	令和2年	令和2年
	6月	9月	12月	3月	6月
良くなっている	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%
やや良くなっている	22.4%	8.6%	9.3%	12.7%	26.4%
変わらない	56.9%	48.3%	51.9%	10.9%	26.4%
やや悪くなっている	12.1%	31.0%	25.9%	32.7%	15.1%
悪くなっている	6.9%	12.1%	13.0%	43.6%	26.4%

③ 県西地域

景気の先行き判断DIは44.2となった。前回調査より17.9ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を6期連続で下回った。

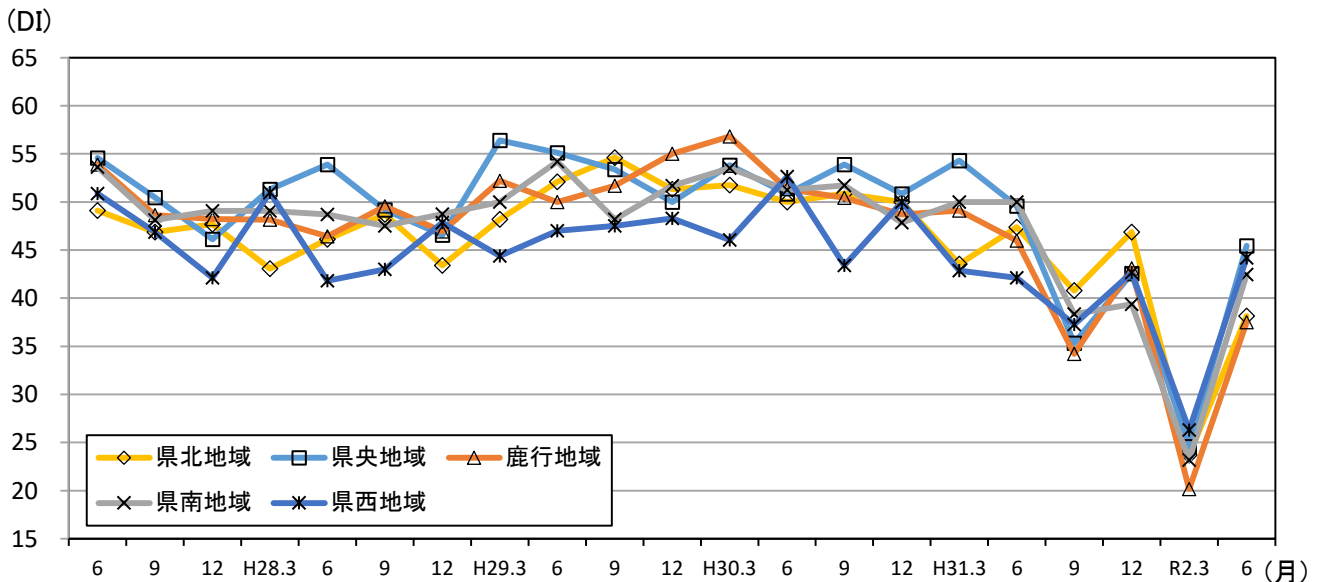
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	令和元年	令和元年	令和元年	令和2年	令和2年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		42.1	37.3	42.7	26.3	44.2
家計動向関連		38.6	37.1	39.7	26.5	45.3
企業動向関連		51.5	39.7	47.4	29.2	42.1
雇用関連		31.3	30.0	45.0	15.0	45.0

表2-20 回答構成比

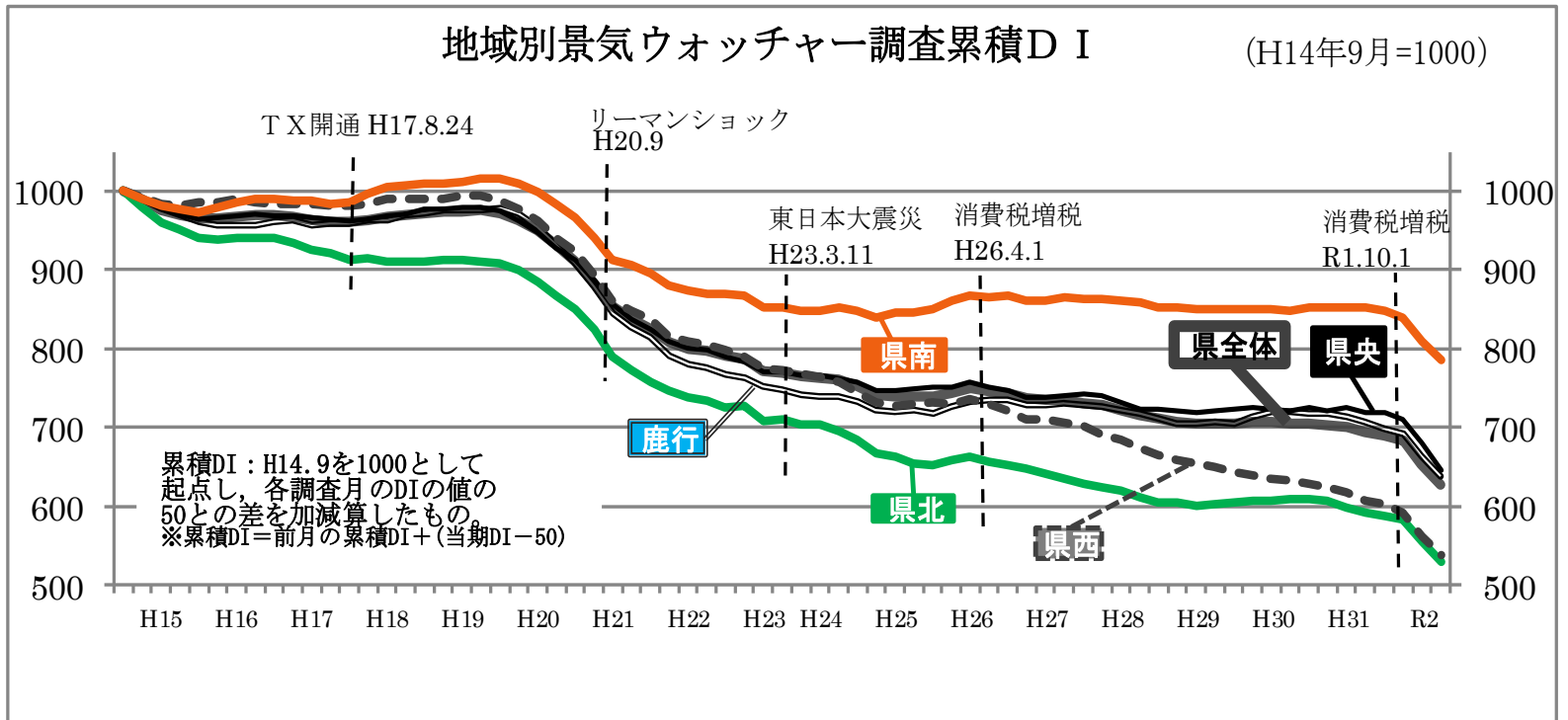
	令和元年	令和元年	令和元年	令和2年	令和2年
	6月	9月	12月	3月	6月
良くなっている	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
やや良くなっている	16.7%	14.0%	13.8%	14.0%	30.4%
変わらない	50.0%	35.1%	48.3%	21.1%	30.4%
やや悪くなっている	18.5%	36.8%	32.8%	21.1%	25.0%
悪くなっている	14.8%	14.0%	5.2%	43.9%	14.3%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



	27.3	27.6	27.9	27.12	28.3	28.6	28.9	28.12	29.3	29.6	29.9	29.12	30.3	30.6	30.9	30.12	31.3	R1.6	R1.9	R2.3	R2.6月
県全体	52.4	48.2	46.6	48.5	47.5	47.6	46.7	50.3	51.7	51.1	51.3	52.4	51.2	50.1	49.5	48.0	47.1	37.2	42.9	23.6	41.5
県北	49.1	46.9	47.7	43.1	46.1	48.7	43.4	48.2	52.1	54.6	51.3	51.8	50.0	50.9	50.0	43.5	47.4	40.8	46.9	23.7	38.1
県中央	54.6	50.5	46.1	51.3	53.9	49.2	46.6	56.4	55.1	53.4	50.0	53.8	50.8	53.9	50.8	54.3	49.6	35.3	42.5	24.6	45.5
鹿行	53.9	48.6	48.2	48.1	46.4	49.6	46.9	52.2	50.0	51.7	55.0	56.8	51.3	50.4	48.7	49.1	46.0	34.2	43.1	20.2	37.5
県南	53.6	48.1	49.1	49.1	48.7	47.5	48.8	50.0	54.2	48.2	51.7	53.5	51.3	51.7	47.8	50.0	50.0	38.4	39.4	23.2	42.5
県西	50.9	46.9	42.1	51.0	41.8	43.0	47.8	44.4	47.0	47.5	48.3	46.1	52.6	43.4	50.0	42.9	42.1	37.3	42.7	26.3	44.2
全国	52.6	50.2	49.1	46.5	40.7	49.6	50.0	49.1	50.7	51.4	52.2	50.2	50.2	51.8	47.9	48.1	45.6	37.8	45.5	18.8	44.0(季節調整値)
	53.5	49.1	48.2	46.7	41.5	48.5	49.0	49.0	51.5	50.4	51.3	50.1	50.9	50.7	47.0	47.9	46.3	36.7	44.5	18.7	44.8(原数値)

(参考) 地域別累積DI



III 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	コンビニエンスストア	以前は観光客が多かったが、地元の人達、仕事関係の人達が増え、売上げが伸びている。新型コロナウイルスの影響だろうか。
		住宅販売会社	2020年がスタートした時には消費税増税の影響があったためか客の動きが鈍くなったが、5月になり動きが多くなった。再度、低金利の影響と団塊世代の方々が相続になり、その団塊ジュニアといわれる方の土地に対する考え方が変わり、売地が数多く出てきたためであると思う。
やや良くなっている	家計	スーパー	緊急事態宣言が解除され、会社や学校が始まり、経済が動いてきた。買い物の動向については、客単価が高い(2500円~2800円)。
		小売業(弁当・惣菜店)	3月は新型コロナウイルスの騒ぎで大幅に落ち込んだ。これからは回復が見込める。ただ、元のようにとはいかないので、時間がかかりそうである。
		観光型ホテル	新型コロナウイルスによる自粛が済み、人が動き始めた。
		ドライブイン	新型コロナウイルスの対応が始まった3月は、本当に出歩く人が少なかった。3月と比較すると、良くなっているが、通常の客足にはまだ戻っていない。ゴールデンウィークに休業対応し、まだ休業が続いていると思われる方も多い。給付金の効果が出ている。(特に日曜日)
	企業	製造業(電気機械器具)	前年と比べ、受注額が増加している。
		製造業(食料品)	当社製品は、業務用が多く、外食産業や学校給食が6月8日頃から動き出し、少しではあるが売上げが回復している。
変わらない	家計	スーパー	3か月前は3月で新型コロナウイルスによる売上げ増があったが、現在も続いている。
		小売業(燃料)	新型コロナウイルスの影響を除けば、特に変化はない。
	企業	製造業(電気機械器具)	今の作業量は、2019年度秋頃に積み上げた作業量であり、変わらないと判断する。
やや悪くなっている	家計	スーパー	新型コロナウイルス絡みで、医療と小売業(スーパー)は、需要増となったが、全体の景気が良い訳ではなく、購入品が食料に片寄ったということ。来店頻度は下がり、1回の購入量が増えた傾向であった。自粛緩和となり、購入金額は少なくなってきたが、来店客数は戻り方が遅い。
		コンビニエンスストア	客数の落ち込みが激しい。外食を中心に、客の間で厳しい情報を耳にする。
		自動車販売店	緊急事態宣言が解除されたとは言え、外出に対する不安、これからの生活に対する不安が消費者の購買意欲を低迷させ、販売不振になっている。
		タクシー運転手	6月に入って、少し上向き傾向にはなってきたが、飲食店などの様子を見ると、まだまだだと思われる。
		ボウリング場	県の緊急事態宣言の解除を受けて、営業を再開して1か月程度経過したが、休業要請以前の営業時間より2時間ほど繰り上げて閉店するため、夜間の客の入り方が良くない。土曜日・休日も家族連れの客の来店数が少なく、団体利用も皆無の状態であり、客足が戻りきっていない。学校の夏休みも短縮される公算が高く、厳しい情勢である。

やや悪くなっている	企業	水産業関係者	新型コロナウイルスの影響を受けにくい業界だが、回り回って影響がある。
		製造業（食料品）	新型コロナウイルスの影響がある。
		製造業（電気機械器具）	3か月前から状況はさほど変わっておらず、液晶・半導体製造装置関連や、原子力関連とも受注や引合いが少ない状態が続いている。そもそも顧客への行き来が制限されており、仕事が薄い状態である。
		運輸業	新型コロナウイルスの影響により出荷台数が減少している。在宅勤務、出張自粛、昼休み時間のシフト制、体温・体調不良者の日々の報告等、新型コロナウイルスの対応が続いている。
		金融業	飲食業及びサービス業は緊急事態宣言解除後も依然として客足が戻らず厳しい状況。製造業は主取引先の長期的な生産計画の中で受注することが多いという業種特性から、受注が一巡した先月中頃から受注が減少する企業が多い状況。
		不動産業	新型コロナウイルス感染対策の外出規制のため、来客を促す広告が中止。また、既来場客へ再来営業をするも、外出規制を理由に来場拒否があり、思ったように集客活動は出来ていない。一方、リフォーム業は、4月末の風雨の影響で、修理依頼が多数ある。
		情報通信業（情報サービス業）	新型コロナウイルスで仕事が停滞してきている。
雇用	公共職業安定所	昨年11月より、新規求人数は減少傾向にあるが、先月は前年同月比マイナス41.3%で、全産業でマイナスとなった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言が出され、外出自粛や事業所の休業など、先行き不透明な状況のため、求人を検討する事業所が増加したためと思われる。	
	求人開拓員	新型コロナウイルスにおけるコロナ禍の中、若干来館者が減っていたが、6月に入って増加傾向にある。内職の求人等も、大手企業の仕事が止まっている影響もあり、仕事がゼロで求人もない。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの影響がある。
		商店街代表者	新型コロナウイルスの影響で、全く人通りがない。
		酒・各種商品小売業	新型コロナウイルスの影響で得意先の飲食店がほとんど休業した。
		衣料品販売店	来店客数が激減している。
		小売業（酒類）	最悪の状況で推移している。特に飲食店のアルコール販売に関しては、今までになく厳しい数字である。
		小売業（水産物）	新型コロナウイルスの影響で売上げが減少。県外からの客数も減少している。
		小売業（時計）	マスコミの報道の通り。
		ラーメン店	先の見えない新型コロナウイルスの影響がある。客の安心感を得られるように店内の見える部分でも努力はしている。都内の新型コロナウイルス感染者数の数字が上がると、敏感に売上げに響く傾向が見られる。
		スナック	新型コロナウイルスの影響で、6月からそれ以前とさほど変わらず、人が動いていない。
		ラーメン店	新型コロナウイルスの影響で、夜の来店客数が減少している。
		観光型ホテル	4月8日～6月30日の間、感染拡大の恐れが懸念されることから営業自粛している。休館に入る前は、宿泊予約が1日2～3件程度、営業本来のスタンスが保たれていなかった。固定費、人件費が確保できておらず厳しい状況だった。
		観光型ホテル	5月はほぼ休館。6月は前年比、宿泊半減、日帰り皆無。今後の影響も計り知れず、東日本大震災の時を上回る危機的状況。
		旅行代理店	新型コロナウイルスの影響で、旅行、観光の需要が全くなくなっている。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響による異常な景気の悪化であり、通常の景気判断ができない。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響で、利用者離れが回復していない。6月上旬で、前年比40%の売上げで、会社出勤率は50%。夜の飲食も激減している。売上げは3月が60%、4月が40%、そして5月が33%である。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響により、客数が減少している。
		レジャー施設	新型コロナウイルス予防のため、休業する事業者が多く、収入が限りなくゼロに近い事業者が多く見受けられる（私共も、その例外ではない）。加えて、緊急事態宣言の解除後も、従前のように客数が戻らない状況。
		ゴルフ場	毎年、この時期はゴルフコンペ、パーティー、宿泊が増えるが、今年度は新型コロナウイルスの影響で、予約が全く入らない。また、会員の方々もプレー、宿泊を大幅に控えている。
		ゴルフ場	来場者の流れが、7ポイント悪くなっている。4、5月の来場者実績で30%減となっている。
		写真店	新型コロナウイルスの影響は大きい。3月より、学校はもちろん、町全体が行事を取りやめ、緊急事態宣言解除後とはいえ、生活への影響はある。
写真店	新型コロナウイルス感染症対策により、撮影が全てキャンセルとなった。		
企業	林業関係者	新型コロナウイルス関連で、製品の流通が減少し、大型製材所が減産を打ち出しているため、素材、製品とも低価格を推移している。	
	製造業（化学工業）	新型コロナウイルス感染症の影響で、国内外の需要が落ち込んでいる。	
	製造業（輸送用機械器具）	5月の国内自動車販売台数は新型コロナウイルス拡大による緊急事態宣言や外出自粛によって大幅に減少した。これは、東日本大震災、第1次石油危機に次ぐ大きな減少幅のようである。当然、各自動車メーカーは勿論、部品メーカーも工場の生産停止を余儀なくされ、緊急事態宣言が解除された後、トヨタ、スバル等が50%程度の操業を開始し、販売がどの程度戻るか様子見の状態にある。この新型コロナウイルス感染症は全世界に拡散され、グローバルでの経済が停止する動きになっている。	
	製造業（精密機器）	前年度比で半分になっている。特に車関係が減っている。また、見通しが分からないので不安である。	
	建設業	新型コロナウイルスの影響は大きく、通常と比較は無理だと思う。	
	運輸附帯サービス業	新型コロナウイルスの影響で、作業量が減っている。	
雇用	求人広告	新型コロナウイルスの影響が如実に出ている。	

(2) 県央地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	家電量販店	新型コロナウイルスの影響のため、在宅関連で需要がある。給付金もあり、今まで欲しかったものを購入。緊急事態宣言解除後、気温も上がり、購買意欲が多い。
		ペット美容室	時短営業を解除した。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	新型コロナウイルスで、客足が回復傾向である。
		レストラン	新型コロナウイルスの外出自粛の解除により、客足が戻りつつある。
		割烹料理店	前年に比べるとまだまだだが、新型コロナウイルスの影響で自粛要請が出始めた頃に比べると、やや数字は上がってきている。
		タクシー会社	新型コロナウイルスによるコロナ禍において、非常事態宣言中には一部休業を余儀なくされた。解除によって、やや経済活動に動きが見られるようになり、駅周辺の客が増えてきた。
		レジャー施設	3月時点では、新型コロナウイルスの影響が増大する予想であったが、現在は収束方向に向かっており、少しずつ入場者数も上向き、雰囲気もやや良くなっていると感じる。
変わらない	家計	バス運転手	3か月前は、コロナショックの深刻な影響のピーク以前であり、4～5月の深刻な時期を挟んだ前後では大きな変化はない。ただし、景気は決して良くない。
		設計事務所	新型コロナウイルスの影響も特に感じられない。例年並みである。
やや悪くなっている	家計	小売業	新型コロナウイルスによる外出自粛を経験し、その上、客自身も収入の影響が出ている方があり、買い物が慎重になっている。必要な商品と衝動買いするような商品では動きが大きく違ってきている。
		観光名所	今までは、動きが全然なかった。
		設計事務所	周囲の設計事務所では、このところ受注件数が減少傾向にあるが、仕事の形態により二極化していることを感じる。店舗などのデザイン系の事務所は、都内からの受注も含めて激減し、住宅系の事務所は計画の延期も含め、やや減少にとどまっている。これらを総合し、3か月前よりやや悪くなっていると判断した。
	企業	製造業(一般機械器具)	自動車、建設機械、工作機械の生産台数減少が影響している。
		運輸業(道路貨物運送業)	新型コロナウイルスの影響により貨物の動きが悪い。
		不動産業	新型コロナウイルスの影響で客数は減少したが、6月からは以前よりも回復している傾向がある。ただ、前年比で見るとまだまだ厳しい状況。
		サービス業(コンサルタント業)	新型コロナウイルスの影響により先行き不安がある。
	雇用	人材派遣業	新型コロナウイルスにおけるコロナ禍の影響で売上げが減少している。
		学校就業関係者	新型コロナウイルスによるコロナ禍により、採用活動を行う企業は採用活動の延期や、新たな取り組みとしてのリモート説明会・選考を取り入れる等様々な対応をとっていた。学生も制限がある中で今できることを実行し、お互い我慢の時期となった。休業要請、移動の制限等が解除されることによって少しずつ社会活動が平常化されつつあるが、第2波、第3波の懸念や新しい生活様式の取り入れによる自粛ムードからの脱却には相応の時間が必要ではないだろうか。
		求人开拓員	施設を利用している求職者数には変化は見られないが、求人件数、求人人数は共に減少しているように感じる。また、求人申し込み事業所の一部から新型コロナウイルスの影響による受注減の話が聞かれる。

悪くなっている

家計	商店街代表者	新型コロナウイルスにおける自粛により、あらゆる面で悪影響が出ている。
	小売業	新型コロナウイルス感染症の影響が一番大きいと思われるが、特に高齢者が外出を控えており、売上げ、客数とも激減している。
	小売業	今月の売上高の前年比と、3か月前の売上高の前年比を比べると悪化している。新型コロナウイルスの影響により、更に悪化している。
	スーパー	新型コロナウイルスの影響が様々な業態で出ている。現時点で、貯蓄、内部留保の取り崩しで凌いでいるが、これからジワジワと影響が出ると考えられる。ただし、客の購入単価は高くなっている。
	スーパー	新型コロナウイルスの問題で、取引先の飲食店が休んでいたり、営業しても客が来なかったりとのことで、売上げが低迷している。
	スーパー	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来店客数が減少している。
	小売業	空港内の職場ゆえに、新型コロナウイルスの影響が直撃した。
	自動車販売店	外出自粛要請のため来店客数が減少。連日のマスコミによる煽り報道により、個人消費の購買意欲の減少も見受けられているようである。
	農産物直売所	ギフト商品のメロンの価格がいつ頃値下がるのか聞く人が多い。もう少し下がったら買うと言って帰る人が多い。
	楽器販売	全ては新型コロナウイルスの影響である。
	レストラン	新型コロナウイルスの影響で、婚礼、宴会、レストランの全ての客が戻っていない。
	都市型ホテル	新型コロナウイルスの影響。
	都市型ホテル	宴会等の予約が昨年比8~9割減の状況で、まだまだ自粛の企業、団体が多いようである。
	観光型ホテル	新型コロナウイルスの影響により休館をしていたことや、営業再開後も予約がかなり弱い状態が続いていることから、悪くなっていると判断した。
	旅行代理店	新型コロナウイルスの影響。
	旅行会社	新型コロナウイルスの影響で、バスが1台も稼働していない。しかし、車検や整備などは行わなければならない。
	タクシー運転手	新型コロナウイルス感染予防のため、タクシーを使う人が激減している。完全な終息を期待する。
	タクシー会社	新型コロナウイルスの影響は、予想していた状況を大きく上回り、県内外の客の移動を困難にさせ、外出自粛等の影響も加えて、売上げも予想以上の減少になった。インバウンド等の観光客も減少し、乗車率0%になっている。
	ドライブイン	新型コロナウイルスの影響で団体のバスが全くなく、客に借楽園にも来てもらえなかった。
	観光名所	新型コロナウイルスの影響でキャンセルが相次ぎ、来客数が減少している。
スパ・銭湯	新型コロナウイルス感染拡大による営業自粛、休業要請の影響により、3月から最悪の営業状況になっていたが、休業要請の解除により、一部の利用中止を継続するなか通常営業に戻したが、通常の半分ほどの戻りとなっており、今後も同じような状況が続くと思われる。	
レジャー施設	新型コロナウイルス蔓延予防対策として、4/14~5/24まで施設の休館を実施していた。5/25からは、予防対策を実施しながら再開したが、利用者の大幅な減少に伴い給油販売数量も例年になく落ち込んでいる状況である。	
理・美容店	新型コロナウイルスの影響なのか、とにかく暇である。この先心配である。	
企業	製造業(食料品)	学校給食や外食系の売上げがかつてない激減。
	製造業(食料品)	新型コロナウイルスによる消費への影響は、まだまだ続く見込みである。
	製造業(印刷・同関連業)	新型コロナウイルスの影響により、チラシの規制がかかり厳しい状況である。
	製造業(印刷・同関連業)	売上額、受注額ともに減額となっており、先月からではあるが新型コロナウイルスの影響がはっきりとうかがえる。
	製造業(窯業・土石製品)	客と打ち合わせが出来ず、工期が伸びている。新規の受注が激減している。
	製造業(金属製品)	受注残によってなんとか稼働しているが、今期に入ってから新規受注は約70%減となっており、非常に厳しい状況である。
	製造業(精密機械器具)	3月は当社の年度決算月であり、ユーザー各社も同様に多数のため、決算対策上なのかどうしても当社の受注額が増加する傾向である。
	建設業	5月中旬以降、仕事に関係する情報がない。
	金融業	新型コロナウイルスの影響が直接・間接的に出てきた。更に緊急事態宣言解除後も、業況の変化はみられない。
	建設業	新型コロナウイルスの影響で4月、5月の営業及び既存客との打合せができなかった。
工務店	新型コロナウイルスの影響により売上げが減少している。	
雇用	求人広告	新型コロナウイルス感染拡大による経済減退の影響がある。
	公共職業安定所	新規求人数は、対前年度同月比で2か月連続で2桁のマイナスとなっている。有効求人数は7か月連続で対前年度同月比マイナスとなっており、最近2か月は2桁のマイナスとなっている。新規求職者数は対前年度同月比で2か月連続で2桁のマイナスとなっており、有効求職者数は対前年同月比で2か月連続でマイナスであった。有効求人倍率は対前年同月比で6か月連続でマイナスとなっている。

(3) 鹿行地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	家電販売店	緊急事態宣言前と後で客の入り急激に上がっている。
		小売業	3か月前は新型コロナの影響で停滞していたが、緊急事態宣言も外出自粛要請も解除され、当社も客も恐る恐る少しずつ日常を取り戻そうとしている。
やや良くなっている	家計	スーパー	新型コロナウイルスの影響で売上が伸びている。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスによる自粛要請が解除され、人の動きが出始めた。
		小売業（薬品店）	新型コロナウイルス対策関連商品の販売が好調で、売上げが増加している。
		小売業（書店）	新型コロナウイルスの影響で巣ごもり需要があった。
		理・美容店	国から一人ひとりに10万円が支給されて、若い人や子供のいる家族に余裕が出てきたことがあると思う。
		理・美容店	3月、4月は新型コロナウイルスの影響で客の利用も若干減ったが、現在は自粛していた方も含めて来店客数が増加している。
変わらない	家計	クリーニング店	外出自粛が解除されたので人々が出歩くようになり、少しずつ活気づいてきたが、時間はかかると思う。
		農産物直売所	売上げは減少しているが、それは新型コロナウイルスの影響である。また、来店客数も減少している。
		小売業（菓子類）	3か月前も悪かったが、今月も対前年比でみると悪い。まだ新型コロナウイルスの影響がある。
	企業	小売業（食品）	6月に自粛が解除されたが、今のところは変わらない。
製造業（化学工業）		生産状況は3か月前と比べて、今月も大きな増減がないことから、景気は横ばい状態が続くと思われる。	
建設業		新型コロナウイルスの影響が多少なりともあるものの、例年どおりの受注数、金額を維持している。ただし、業界全般で考えると例年今の時期は動きが顕著ではない。	
建設業		新型コロナウイルスの影響もあり、先行きはどうかと思う。大手建売業者が鹿嶋に来て分譲建売を始めた。低所得者が契約している。	
やや悪くなっている	家計	保険業	新型コロナウイルスの影響はないが、自動車新車販売の動きが悪い。
		スーパー	3月からの新型コロナウイルスにおけるコロナ禍の影響による食料品、衛生用品等の特需で売上げが急増した。一方で、3密防止の観点からチラシ中止などで販売促進費用等のコストが下がり、収益が上がる状況が継続していたが、緊急事態宣言の解除や学校等の再開もあり、徐々に普段の状態に戻りつつある状況になっている。過去3か月が好況だったため、それと比較すると悪くなりつつある。
		コンビニエンスストア	日経平均は上がり始めているが、銀行が買い支えしているだけである。小売、スーパー、飲食、ホテルなど、日本全体を支えるインフラの業績が悪いので、今後も昨年度に比べ悪くなると思う。
		農産物直売所	新型コロナウイルスの影響で明らかに集客が減っている。その分とは言わないが、宅配が前年比150%くらいに増えた。ただ、もともと宅配が多いわけではないので何とも言えない。
		小売業（薬品店）	新型コロナウイルスの影響で、クリニックを受診する患者が減っている上、クリニック側も感染を恐れ、受付で検温をして熱のある患者は保健所に連絡してほしいと受診拒否の傾向。現在は予約制で慢性疾患患者が中心。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスの影響がある。
		ドライブイン	新型コロナウイルスの関係により、団体客や県外の客の利用が減少した。
	企業	住宅販売会社	当社の場合は3月決算なので3月までは忙しい時期だったが、4月、5月、6月とリフォーム関係の問合せが少なくなった。新築に関しては、以前からの商談中の客が新型コロナウイルスの影響で決断に時間がかかっているのが現状。
		農業関係者	新型コロナウイルスによる影響で外出自粛要請が出され、不要な外食や買い物を手控える事から農産物への影響が心配されたが、家での消費が増えて農産物の売上げについては品目によってばらつきがある。嗜好品的な農産物は苦戦している。
		製造業（食料品）	新型コロナウイルスの影響と思われる巣ごもり需要により、4月は鯖缶詰の販売が大幅増となったが、5月以降は自粛要請の緩和とともに販売減となって昨年同時期より低下している。
		製造業（鉄鋼業）	経営環境の悪化が引き続いていると感じている。
		製造業（金属製品）	国民生活が停滞している。
		運輸業（道路貨物運送業）	新型コロナウイルスの影響でメーカーの長いゴールデンウィークや生産量が少なくなった。
雇用	公共職業安定所	新規求人数が5か月連続で減少しており、対前年同月比でも、17.6%減少している。加えて、新型コロナウイルス感染拡大の影響がある。	

悪くなっている

家計	商店街代表者	当市内においても、新型コロナウイルス感染者の発生があり、学習塾やスポーツクラブ等の施設は県の休業要請対象施設として、また飲食店等は時短営業の要請や営業自粛により、売上げが大幅な減少となっている。緊急事態宣言時には不要不急の外出自粛が求められ、給付金や協力金への申請や問い合わせの数からみて、小規模事業者の売上げの低下は当地域でも影響は大きくなっている。
	衣料品販売店	新型コロナウイルスで自粛が続いて外出、来店される客が激減。店頭在庫が減らないし、メーカーも展示会中止など全てが悪循環。
	洋食食堂	新型コロナウイルスの影響は業種により明暗が分かれているが、飲食店は大きな嵐が吹き荒れた。約2か月間、夜の営業はテイクアウトのみとした。
	割烹料理店	休業要請も解除になったが、客足はあまり戻ってこない。
	日本料理店	新型コロナウイルスの影響で外出を控えている人が多い。
	観光型ホテル	新型コロナウイルスの影響がある。
	観光型ホテル	新型コロナウイルスの影響で宿泊や宴会の予約が3か月前と比較するとやはり減少しており、悪くなっているように感じる。また、3か月前までは行っていたサービスや提供していた商品が、現在は取り扱っていないなど仕事面でも景気が悪くなっているように感じる。
	運転代行	新型コロナウイルスの影響で売上げが大きく下回っている。予約等、ほとんどない状態。
	旅行代理店	新型コロナウイルスの影響で仕事がない。
	タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響で状況は極めて悪い方向に行っている。仕事量も激減し、このような環境の中では景気がどうこうの状態ではない。どのくらいの日数で新型コロナウイルスを撃退できるかが最優先。このような状態では何も言えない。
	ゴルフ場	新型コロナウイルスの影響により緊急事態宣言が発令され、客も外出自粛しているため来場者が減少している。
	ゴルフ場	新型コロナウイルス感染拡大の影響により先行きが不安な情勢の中、消費に対して慎重になっていると思われる。
	レジャー施設	新型コロナウイルスの影響で3月中旬から休業中。
住宅販売会社	新型コロナウイルスによるコロナ禍により、生活保護を申請する客や緊急家賃給付を申請する客がいる。	
企業	製造業（鉄鋼業）	新型コロナウイルスの影響により建築、自動車関係ともに受注が減少し、景気は悪くなっている。
	製造業（食料品）	新型コロナウイルスの影響によりイベント、学校給食が中止となり、外販関係がほとんど売上げがない。
	製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスの影響による大幅な受注減。
	製造業（ゴム製品）	新型コロナウイルスの影響で客先からのオーダーが激減した。
	運輸業（道路貨物運送業）	3か月前からの業績が月を追うごとにダウンしている。特に5月の落ち込みが大きい。荷主からのオーダーもダウンしている。新型コロナウイルスの影響が大きく、経済自体が低迷していて来月以降の見通しも不透明。
	金融業	新型コロナウイルスによる営業自粛により、殆どの業種で売上高が減少している。特に観光業関連や飲食業（特に居酒屋や接客を伴う飲食店）の売上高減少率が高く、事業存続を真剣に検討される事業者も出てきている。
	不動産業	新型コロナウイルスの影響で行きつけの居酒屋、スナックとも通常の2割から4割位の客しか入らないとのこと。パチンコ店も駐車場を見ている限り、1割から3割位の車しかとまっていない。
	不動産業	新型コロナウイルスの影響で外出をなるべく控える様子が見える。街の活気が少なくなった感じである。
	サービス業	例年であれば、ゴールデンウィーク明け頃から引合いが増加するが、今年はその傾向がなく低調。新型コロナウイルスの影響は大きいですが、そればかりではなく米中摩擦をはじめとする、国際情勢の変化の影響を口にする客が目立つ。
雇用	人材派遣業	新規受注が極端に減少している。
	民間職業紹介業	取引企業からの受注の減少、新規営業が全く取れない。企業動向の確認をしても国内需要はある程度回復の兆しが有るらしいが、海外輸出が低迷しており、人材のオーダーの話がまだまだ出てこない。一時帰休を継続して行っている所もあり、厳しい状況が続いている。
	学校就業関係者	学生への求人採用予定枠の人数が昨年より随分減っている。求人活動が本格化するが、かなり厳しい状況である。
	求人開拓員	潮来市内の家族で経営している食堂の主人の相談で、お店に伺うと利用客はここ1~2か月ほとんど入らないとのこと。たまに出前の注文もあるが数えるほどで、このままでは店を畳むしかないとのこと。今更のリニューアルの予算もなく、テイクアウトも目立ったメニューなどないとのこと。

(4) 県南地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	家計	スーパー	新型コロナウイルス関連で特需があった。	
		スーパー	良くなっているとしたが、新型コロナウイルスの影響が多分にあり、食品小売業としては客数は減っても単価がそれ以上に上昇しているため、売上げが上昇している状況が続いている。	
やや良くなっている	家計	スーパー	チラシの本数を減らしても売上げを達成している。	
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの影響が出始めた頃と比べれば、多少なりとも景気は回復してきている。新しい生活様式に合うような商品（大容量、高たんぱく質等）の販売が伸びている。	
		サービスエリア	5月の緊急事態宣言解除を受け、いくらか職業ドライバーの利用が見られるようになったが、観光利用や家族連れの客が外出を控えていて、本格的な景気回復はまだまだ先のことと思われる。	
		テーマパーク職員	新型コロナウイルスの影響で自粛を余儀なくされ、緊急事態宣言解除となり、お越しいただく客は価格の高い低いではなく付加価値や経験に惜しみなく出費しているように感じる。当施設の場合、顧客層が自然満喫や外で体を動かす目的に絞られるため、難しい判断ではあるが、緊急事態宣言解除というタイミングでご来場される客は景気がやや良いと思う。	
		理・美容店	動員が増えた。	
変わらない	家計	スーパー	家族連れの買い物客が増えているが、売上げ、客数とも変わらない。	
		タクシー運転手	近隣企業の営業職のタクシー利用は徐々に戻ってきている印象があるが、依然として従来通りとはいかない状況。観光バスはむこう3か月は動きがない。	
	企業	農業関係者	6月期（初旬まで）の来客数・客単価を3月期と比較すると両者とも増加傾向。これは毎年の傾向である。前年同期と比較するとほぼ変わりはない。	
		製造業（窯業・土石製品）	前年度と比べて変わらない。	
		製造業（窯業・土石製品）	当社事業は公共工事比率が高く、現在までの出荷は国、自治体より発注済み工事のものであるため、出荷への影響はほぼなかった。	
		製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスの影響が少なく、出荷は順調に推移したが、受注は訪問自粛等の影響により若干減少している。	
		製造業（一般機械器具）	新型コロナウイルスの影響もなく、事業を継続できた。	
		建設業	3か月前は年度末なので、今月よりも工事量が多いのは毎年のことである。前年度も6月は工事量が一番少なく、今月も同じような傾向がみられる。よって、景気は変わらない。	
			金融業	新型コロナウイルス感染拡大の影響によりサービス業・飲食業を中心に売上激減、低迷が続いている。売上減少による当面の運転資金確保としての融資需要は一段落した感もある。しかし、売上低迷が続く中、毎月の返済額の軽減等、資金繰りを改善するための借換融資が増加している。
	雇用	学校就業関係者	業務の関係から学生の求人状況からの判断になるが、例年通りの採用計画が各企業予定されており、変化は感じられない。	
やや悪くなっている	家計	家電販売店	新型コロナウイルスの影響で、来店客数が減った。（一過性のもので、研究学園近辺の商業施設が休業になったときは増えた）	
		小売業	やはり、4月に発令された緊急事態宣言の影響を直に受けており、生活様式の変化に伴い必要最低限の購入で客単価はアップしているが、客数が大幅に低下している。特に、夜の夕食需要および贅沢品類が顕著に低下している。	
		小売業（生花店）	店頭販売の売上げが減っている。業務用需要ではホテル宴会や婚礼が全くなくなっており、来年1月のキャンセルも入り始めたとの連絡があった。会社関係は前期からの継続需要なので変化はない。	
		タクシー会社	新型コロナウイルスの影響。	
		ゴルフ場	外出自粛、ステイホームが続く客足がとても落ちている。危機感が皆に定着し、不要な外出が敬遠されている状況で、景気が良くなる要因は見当たらない。	
		レジャー施設	来場者数が3か月前と比較して減少している。	
		理・美容店	新型コロナウイルスの影響で当然悪くなってはいるが、近所には公務員が多いせいとかそこまで悪くなっていない感じはする。飲食業の方たちはやはり悪くなっているらしい。	
	企業	製造業（食料品）	新型コロナウイルスの影響で荷動きが鈍い。注文がない客もある。委託製造を受注しているが、製品になるには2年先なので現状での生産量は変わらない。そのため、手数料に変化はない。	
		製造業（飲料）	新型コロナウイルスの影響。	
		不動産業	賃貸物件でのメールの問い合わせは変わらないが、来店、案内までに至っていない。	
建設業		新型コロナウイルスの影響で工事ストップ、機材の納期遅延がある。また、工事そのものを遅らせる動きがある。		
		運輸業（倉庫業）	新型コロナウイルスの影響も考えられ、貨物の動きが少なく、生産しても在庫が増えている。食品関係は活発な動きであり、特にアルコール関係は例年以上の出庫で日々動きが多い。	

悪くなっている

家計	コンビニエンスストア	新型コロナウイルスによりかなり悪くなっている。新型コロナウイルスの影響がなかったとしても、消費税増税後、客単価、客数減であるので、やや悪くなったと思う。
	衣料品販売店	新型コロナウイルスの影響で客が買い物を控えている。
	小売業（米穀）	新型コロナウイルスの影響があらゆるところに出ている。他県、同業者の倒産、廃業が数店ある。
	和食食堂	新型コロナウイルスの関係。
	和食食堂	新型コロナウイルスによるコロナ禍に起因すると思われる。
	日本料理店	新型コロナウイルスによるコロナ禍のため、4月から休業している。
	洋食食堂	年金生活者の客は特別変わらないが、新型コロナウイルスの影響で外出を控えていたので、やっと食事をしにレストランに来店したと言っていた。周りの同業者は経営は悪化している。休業中のお店もある。また、雇用調整助成金の申請が大変で、ハローワークに何回も行っているとのこと。
	都市型ホテル	宿泊部門も2桁の前半の予約状況。レストランを6月より再開するも収容人数は約半数での状況。婚礼は9月まで全て延期かキャンセルで、宴会も大きな宴会は先までキャンセルか年度を超えた日延状況となっている。売上げの減少は大きく、雇用確保がやっとの状況。客から励ましのお言葉をいただいている。
	都市型ホテル	3か月前はホテルに新型コロナウイルスの影響が出始めた時期となり、宿泊団体や会議、宴会等の予約が多数取消しとなり、悪い状況だった。現在も、8月までは開催を見合わせている客も多くいる。ただし、例年に比べると少ないが、4月、5月に比べると6月以降は宿泊団体の受け入れもある。
	都市型ホテル	新型コロナウイルスの影響はあまりにも大きく、施設3館共営業できず、1館は4月から閉館のままである。売上げも昨年比60%減少してしまった。東京、神奈川からの客が多かったため、自粛となれば当然の結果といえる。
タクシー運転手	一時的な要因かもしれないが、新型コロナウイルスの影響でタクシー利用者が非常に少ない。現在、緊急事態宣言が解除されているとはいえ、必要以上の外出を避けている人が多い。今後も企業関係者のワークスタイルの変更や接待、飲み会等の減少も予想され、回復が望めない現状である。	
タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響が出ている。	
ゴルフ場	来場客数の激減が、企業の活動自粛によるもの。一部の来場客については、まだまだ厳しい状況が続くとみている。	
ボウリング場	新型コロナウイルスの影響で娯楽への消費がストップしていると感じる。	
企業	農業関係者	報道等により悪くなっていると感じる。また、先行きが不透明なことから、業務進捗が低迷している。ウィズコロナにより従来と葬儀等の形式が変わってきている。
	製造業（印刷・同関連業）	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各種イベントや行事の中止により付随する印刷物の制作見合わせが多くあった。また、営業自粛を行っている飲食店、サービス業等の顧客からの発注が減っている。
	製造業（その他）	3月から受注が減るばかりである。
	製造業（非鉄金属）	新型コロナウイルスの影響で生産停止や減産対応が続いている。
	不動産業	新型コロナウイルスによる自粛要請に伴い、ほとんどの業種で停滞。不動産賃貸においては、軒並み家賃引き下げの要請があり、応じている。
雇用	民間職業紹介業	取引企業の景気悪化や受注が減少している。
	求人広告	新型コロナウイルスの影響で本来の経済状況とは程遠い実情。
	公共職業安定所	新型コロナウイルスの拡大防止のため、外出自粛となり経済活動が停止状態となった。
	求人開拓員	紹介期限経過後に更新される求人が減っている。

(5) 県西地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業（金属製品）	3か月前と比較すると引き合い件数、受注件数共に格段に増えている。ただし、一時的なものという可能性もある。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスが収束しつつあるのか、微増ではあるが売上げが良くなっている。
		コンビニエンスストア	県内、市内での新型コロナウイルスの感染者が出なくなり、通常の生活に戻るにつれて、コンビニエンスストア店舗の客数、売上げが回復傾向にあると思う。
		メガネ・時計販売店	緊急事態宣言が解除され、不要不急の買い物を自粛されていた客が来店している。
		小売業（酒類）	新型コロナウイルスによる自粛要請が解除され、動きが出てきたところ。4月、5月は飲食店の取引が全くなかったため、売上げ底辺から比べたら今月は緩やかに上向き傾向。ただし、本来の売上げの多くを占めていた宴会場を持つ飲食店が戻らないので、爆発的な売上げ上昇には結びつかない。
		和食レストラン	新型コロナウイルスの影響もあり売上げが減少していたが、少しずつ客足が戻ってきて売上げも上がってきたように思う。
		旅行会社	新型コロナウイルスの緊急事態宣言解除から2週間、どこへ行っても人、車が増えている。給付金のおかげもあると思う。しかし、まだ様子を伺っている人も多くいる。
		理・美容店	学校も始まり、少しずつ活気が戻りつつある感じである。
	企業	製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスの緊急事態宣言が解除され、経済活動が少しずつ戻り始めてきたので、やや良くなっていると判断した。
		製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルス感染予防の影響が緩和した。
		不動産業	賃貸の本来の繁忙期である3、4月が来店客が非常に少なく、6月になって人の動きが活発になってきた。
変わらない	家計	スーパー	4月～5月にかけて、新型コロナウイルスの影響でまとめ買いの傾向が強かった。6月に入り、客の購買パターンも2月～3月頃と変わらない状況になった。
		衣料品販売店	季節要因を除くと来店者がいない。
		農産物直売所	一時期外出自粛の影響で客足が鈍っていたが、農産物直売所に関しては以前以上の客足に回復。嗜好品の売上げが減少している反面、外出自粛に伴う自宅調理用食材の売上げは増加している。一定の業種だけ売上げは増加しているが、減少している業種の方が多い。
		日本料理店	新型コロナウイルスの収束が見えず、不安と不透明感が強く集客ができない。テイクアウトも伸び悩む。
		設計事務所	日常の売上げに影響する職種以外は、今のところさほど変わりのない状況。
	企業	建設業	特に変化を感じないため。
やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	朝と夜帯の客数が減少。
		ドライブイン	新型コロナウイルスの影響で観光客が激減している。
		ゴルフ場	新型コロナウイルスの影響が残り、団体予約（コンペ）の自粛傾向にある。
		設計事務所	新型コロナウイルスの影響で普段のペースが乱れ、結果的に非効率で景気が悪化していると言える。
	企業	製造業（化学工業）	新型コロナウイルスの影響で顧客の受注が若干減速している。
		建設業	3か月前の前年比と比べて原材料の入荷の遅れも有り、低調なので景気はやや悪くなっている。
		サービス業（コンサルタント業）	新型コロナウイルスの影響による経済活動の自粛要請等により相当悪化しているように感じる。
雇用	学校就業関係者	4月から新学期が始まったが、約2か月間休校だったため、6月からは授業時間を延長して1年間のカリキュラムも変更した。その他、求人関係会議等も中止となった。	

悪くなっている

家計	商店街代表者	新年度の始まりが、新型コロナウイルスの影響ではじめがつかなくなり、消費も落ち込んでいる。
	スーパー	スーパーとしての業績は新型コロナウイルスの影響での内食需要増加により売上げは良いが、客の先行き不安での支出抑えを日々感じている。
	自動車販売店	新規の客の来店がない。
	製茶販売	新型コロナウイルスの影響もあり、近所の飲食店及びスーパーなどでも客数が減少している。
	レストラン	新型コロナウイルスによるコロナ禍により飲食店は状況が一変した。町の支援による半額弁当でなんとか維持している。支援がなくなる来月からが不安である。
	食堂	新型コロナウイルスの影響で3か月前より売上げが7割減になっている。
	都市型ホテル	新型コロナウイルスの影響によるキャンセルが増加している。
	旅行代理店	新型コロナウイルスの影響は大変大きく、バスに乗るのは嫌だ、3密の所へは行かないとの意見が多くて仕事がない。
	タクシー運転手	営収は3か月前からすると50%減から40%減で推移しており、今まで全く経験したことがないような数字になっているのが現状。とにかく営業日数が激減していて、昼は高齢者中心、夜は5月末までは乗込みはパツタリ、飲食店もパツタリという感じである。
	タクシー運転手	タクシー業は新型コロナウイルスの影響で仕事が90%減である。
	ドライブイン	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う自粛・行動規制により、人の動きが減少し、観光目的の利用が激減している。特に飲食関係は落込みがひどく、回復までには相当の年月がかかるものと思われる。
	ゴルフ場	新型コロナウイルスの影響での予約状況により、悪くなっていると判断した。
	レジャー施設	新型コロナウイルスの影響で顧客が激減した。
	企業	商店街代表者
クリーニング店		新型コロナウイルスの影響で外出を渋っているし、子供たちが休校などで家の出費が増している。
農業関係者		会社員の賞与回答が、例年より減額が多い。飲食業界では、客数が新型コロナウイルスの影響で少ない。
製造業（窯業・土石製品）		新型コロナウイルスの影響かと思われるが、工作機械等に使われる製品の出荷が減少している。
製造業（印刷・同関連業）		仕事が前年の半分ほどになっている。
製造業（非鉄金属）		日々、製品のキャンセルがあり販売量が落ちている。
製造業（窯業・土石製品）		3月では、「今は忙しい状況」と回答したが、その時は中国での当社と競合する会社、メーカーが新型コロナウイルスの感染対策のために稼働できないので日本のメーカーに特需として仕事が回ってきて、例年の同時期より売上げが5割以上多かった。しかし、現在は中国が感染の収束に向かいつつあるので、現時点では今までになく低い受注である。
製造業（金属製品）		6月から8月までは受注、受注予定量が少ない。
雇用	製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルス感染防止対応による影響により作業量が減少。各職場から人員調整（減員）の相談が相次いでいる。
	金融業	新型コロナウイルスの影響によりほぼ全業種にわたり売上げが減少している。
	人材派遣業	人材の依頼がない。
	求人広告	客の企業は様々な業種があるが、軒並み悪化。景気が良いと話す企業はほとんどない。建築業など、あまり影響がない企業が少数あるだけとなった。雇用を守る事で精一杯の企業もあり、採用の話は少なくなった。
	求人開拓員	採用を控える企業が多く、仕事の依頼が減少している。また、物量・生産量低下により休業対応や時間外労働の減少が多くみられる。
		3か月前の3月には新型コロナウイルス感染拡大のため行動自粛が始まっていたが、以後5月から感染拡大が止まっては来ているが、減速した経済活動は回復している状況ではない。当地域の求人票件数は5月、6月も全業種で下がっている。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	タクシー運転手	現在最悪の状態なので、3か月先は少しずつではあるが、必ず景気の上昇はあると思う
		住宅販売会社	売地の活性化と、低金利で高い家賃を払うより借入した方が月々支払うお金が低いという事があり、そういった考えの方は多くいるため、今後も良いといえる。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	新生活に慣れ、購買意欲が少しは湧いてくるという希望的観測から、やや良くなっていると判断する。
		酒・各種商品小売業	新型コロナウイルスも感染者数も落ち着き、少しずつ前の生活に戻ってくると思う。
		コンビニエンスストア	少しずつ客数が戻りつつあり、新しい形で日常を取り戻そうとする動きが見てとれる。
		自動車販売店	新型コロナウイルスの影響は今が底だと思うので、今後は少しずつ経済活動も活性化され、販売増になっていくと思う。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの拡大が収まれば、観光客が増え、客数が伸びて良くなると思う。
		小売業（弁当・惣菜店）	新型コロナウイルスによる影響はまだまだあるが、売上げは回復基調にある。
		ラーメン店	「やや良くなっている」としたが、結局、都内の新型コロナウイルスの感染者数次第であり、どちらともいえないと思う。希望は、原発の防潮堤の工事や、その関連事業で大きく茨城県に人が流れてくると良くなる兆しは大きいと思う。悪い例を話すと、茨城県は新型コロナウイルス問題をクリアしていても、他県から食べに来ていただく、地元県民からの苦情や客に來ないように直接言っていることを目にしてるので、お互いに好印象を出せなくなっているのも事実である。
		ラーメン店	新型コロナウイルスの影響が、少しずつ少なくなると思う。
		観光型ホテル	人が動き始めて消費が増える。
		レジャー施設	各事業者とも、感染症を意識した事業の展開を工夫しつつ行っており、現在よりは徐々に客足が伸びると考える。ただし、感染症の第2波、第3波が国や県が考えているより規模が大きくなれば、厳しい結果になると思う。
ゴルフ場	新型コロナウイルスの状況により不透明感が続くが、当業態においては客のマインドは戻りつつあると判断する。ただし、同業界においても、安全対策の実施についての客からの評価により回復基調・停滞基調は両極化すると想定している。		
企業	製造業（食料品）	客が動き出したので、これが続けば少し良くなるのではないかなと思う。	
変わらない	家計	スーパー	新型コロナウイルスの影響はまだ続くと思われる。すぐに回復はしない。
		旅行代理店	新型コロナウイルス第2波の懸念もあり、当分の間、旅行業は厳しい。打つ手なしの状況。
		タクシー運転手	今までにない生活様式等、多岐にわたる変化がある。
		ドライブイン	この1、2か月の様子次第だと思うが、急に混雑しても少々怖い。お盆も、帰省する方々が控えるかどうかで、いろいろ変わってくる。
		ゴルフ場	今の現状が一番悪いと思っている。売上げが前年の30%しかない。
		ボウリング場	新型コロナウイルスの対策が一定の効果を上げれば、多少の客足は戻るのだろうが、「3密」を避けようとする状況が客に広がっている点を考慮すると、現状と比較しても大きく上向き要素は少なく、変わらないと思われる。
企業	水産業関係者	これ以上悪化しないよう勤しむ姿勢だが、時間はかかる。	
	製造業（電気機械器具）	作業量は決まっているが、今後も新型コロナウイルス関連で感染者の増え方次第であり、海外を含めて、部品メーカー側の生産の落ち込み等わからない。	
	製造業（電気機械器具）	液晶・半導体装置関連にあまり動きはないが、原子力関係で顧客の動きが出てきた。	
	製造業（化学工業）	新型コロナウイルスの影響で、経済活動が本格的に再開するのはもっと後になると思う。	
	製造業（電気機械器具）	2020年上期までは、今月と同様に推移する予定。	
企業	製造業（輸送用機械器具）	中国は新型コロナウイルスの感染が収束できたとして、いち早く外出規制を解除し経済活動の開始に踏み切った。自動車の販売も想定外のスピードで回復しているとの情報である。一方、北米は世界最大の感染者数となっているため、いつになったら収束に向かうのか予測が難しい環境下にある。日本も緊急事態宣言が解除され、一斉に外出が可能となり経済活動が再開されたが、第2波・第3波の感染も予想され、自動車の購買意欲がどの程度戻るか、その時期も予測が難しいものと推察される。	
	製造業（精密機器）	今までになく減っているので、先行きも変わらないと思うが、戻る情報がないので不安。これ以上減ったらどうなるか分からない。製造業も全体的に大変になると思う。	
雇用	求人広告	新型コロナウイルスに対する今後の対応次第。	
	公共職業安定所	緊急事態宣言は解除されたが客足が戻らない、製造ライン等を減らして行っている等の声が続いているため、現在のような状況が続くと思われる。	

やや悪くなっている	家計	スーパー	製造業他，新型コロナウイルスによる企業の体力減＝消費の低迷が考えられる。また，消費者還元が6月で終了となる。
		小売業（燃料）	新型コロナウイルスの影響は少なくなってきたと思うが，売上げは戻らないと思う。
		タクシー運転手	市内の大手企業でテレワーク化が進み，人の移動がかなり減少すると思われる。また，飲食店はテイクアウト等で凌いでいるが，夜の客数は3～4割ほどしかない。タクシーの水揚げ（売上げ）も4割ほど。この先会社が続くかどうかとも危惧される現状である。
	企業	林業関係者	新型コロナウイルスの影響はこれから大きくなると考えられるし，出口がない状態が続けば景気回復は望めない。
		製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスの影響が予想される。
		製造業（一般機械器具）	新型コロナウイルスによる影響が出る事が想定されるため，昨年同時期と比較して悪くなる。
		運輸業	新型コロナウイルスにより顧客製品に影響（部品納期遅延）が出ている。今後，出荷台数が更に減少すると思われる。
		金融業	地場産業である製造業（日立製作所関連）について，新型コロナウイルスにより営業活動を大幅自粛していた影響から，引き続き悪化傾向であると思われる。
		不動産業	新型コロナウイルス感染対策の外出規制は緩和されたものの，消費者の行動は慎重になっており，不動産のような高額商品は厳しい客足になると予想する。当社の集客イベントも，完全予約制にするなど，従来とは形を変えて実施せざるを得ない状況。
	運輸附带サービス業	今月はまだ，前に受注していた作業などがあったが，来月あたりからさらに作業量が減る予定。	
雇用	求人開拓員	新型コロナウイルスの第2波，第3波の懸念もあり，企業もすぐには立ち直らないと思う。逆に悪くなる様子だ。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	ようやく感染者がなくなって，通常の生活に戻りつつあるが，まだまだ感染の不安は除かれていない。経済は人の交流によって生まれるもの。まだしばらく交流が生まれる要素がない。
		スーパー	給付金で一時的にお金が入ったとしても，職を失っている人が出てきているのが現状。今後も波及は広がっていくと思え，切り詰めた生活は余儀なく起こると考える。食品は生きるため需要はあると思うが，購入単価や数量は減っていくとみられ，営業面での不調も予測される。
		衣料品販売店	景気が良くなるとは考えられない。
		小売業（酒類）	新型コロナウイルスによる悪い影響が，少しでも良い方向へ推移することに期待したい。
		小売業（水産物）	外出を控える様子が続く限り，不景気が続くと思う。
		小売業（時計）	3月は昨年同月で大きく落ち込み，4，5月は持ち直し（もちろん大幅減ではあるが）。各種給付金が出て，食料品関係には良い影響がでてきているようだが，当方の業種には恩恵がなく，悪くなっていくと思われる。
		スナック	人々が不安に思うことが解消されないのので，これからも悪化すると思う。
		観光型ホテル	先行予約もキャンセルが相次ぎ，7～8月間の合宿団体や法要（新盆）といった予約が消えている。今後の経営が厳しいと思われる。
		観光型ホテル	団体旅行，宴会の問い合わせすらない状況。良くなる理由が見当たらない。
		タクシー運転手	企業の業績回復が困難となり，不況が続くと思われる。リストラ，倒産があると思う。
		ゴルフ場	対前年比，9月時点の予約が20%減となっている。6～9月は，天候状況や熱中症，新型コロナウイルスの影響で，高齢者の予約が減少している。
		写真店	各方面のイベントは縮小されたままだと思うので，しばらく景気の低迷期は続くように考える。
		写真店	まだ新型コロナウイルス感染症が収束してないため，撮影が出来ない。
		企業	製造業（食料品）
建設業	先行きについても，今までの経済活動とは違うので，良くなってほしいという希望はあるが，予測は難しい。		
情報通信業（情報サービス業）	新型コロナウイルスで仕事が停滞し，消滅したりするものも出てくるとされる。		

(2) 県央地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	レストラン	先の予約も入り始めてきている。
		割烹料理店	良くなっていると願うしかない。
		ペット美容室	この状況で皆色々なことを我慢していた時期をそろそろ脱してきたかと思う。少しずつ経済が回り始めてきていると思う。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	自粛解除により、少しずつではあるが以前の生活に戻ってくると思う。
		小売業	新型コロナウイルス感染症の拡大が徐々に収まりつつあり、客数も少しずつではあるが、増加傾向にあるので、景気も今よりは良くなるのではないかと思う。
		家電量販店	引き続き、在宅勤務や給付金で動きが活発になる。制限が解除に向けて不安感が小さくなれば、今までの反動で我慢していたところが大きく動く。
		コンビニエンスストア	客足の回復で、今後も伸びると感じる。
		小売業	徐々に人の動きも出てくるので、良くなると思う。
		自動車販売店	当業界では、年末にかけて新型商品に切り替わる商品が多くなる。また、減産が解除になるため、好転が予想される。
		レストラン	第2波、第3波が来ないことを前提に、今よりは客が戻っていることを願って、やや良くなっていると判断する。
		都市型ホテル	現在の予約状況を見ると、少しは良くなると思う。
		旅行代理店	新型コロナウイルスの影響により、すぐには状況が改善するとは思えないが、新型コロナウイルスが落ち着いてくれば、徐々に景気も戻ってくると思われる。
		タクシー運転手	現在の状況より悪くなることはないと思うので、少しでも景気が好転してくれることを望む。すぐには良くなれないと思うが、今年いっぱいかけてでもいいので、頑張っていきたい。
		タクシー会社	比較の対象が活動自粛期なので、6月以降は人の動きが活発化することを期待している。
		タクシー会社	新型コロナウイルスの収束状況によるが、幸いにも県内感染は報告されていないことから、県内の企業や個人の活動が活発化すると予想している。また、困窮している飲食店、宿泊業、交通機関等も支援の輪が広がりつつあり、県内では通常の日々が戻るものと予想しているが、県外移動の人の流れが東京都の状況により大きく変化することもありうるものと予想している。
		観光名所	他県の車が増えて公園や釣り客もちらほら見えるので、多少は良くなると思う。
		スーパー銭湯	一都三県において他県への移動自粛が解除されれば、宿泊利用の縮小営業を解除して通常営業に戻すことにより現状よりは良くなってくると思うが、夏場の各イベントの中止、夏休みの短縮や屋外施設活用による新たな屋外レジャーへの移行により、屋内レジャーは大きく戻るとは先の話になるのではないかと思われる。
		レジャー施設	この先の新型コロナウイルスの蔓延状況に影響されると思われるが、収束に向かっているのであれば徐々に回復していくものと考えられる。
企業	製造業(食料品)	緊急事態宣言解除による学校給食の再開、外食系の回復が見込まれる。	
	製造業(食料品)	3、4、5月よりはやや良くなっていると思う。感染拡大が収束すれば多少良くなる。	
雇用	学校就業関係者	6月に入り、採用活動を再始動する企業からの案内が増えている。また、インターンシップについては、数か月先の参加に向けてのエントリーなど準備をする時期であるが、企業の登録数も多く学生の参加ニーズも非常に高い。	
変わらない	家計	小売業	新型コロナウイルスは収束傾向であるが、当面の間は消費が自粛ムードであると想定される。特に、必需品以外の商材については、回復が遅いと思われる。
		小売業	リーマンショック後の動きに似ているところがあるが、6月でキャッシュレス消費者還元が終了しても、生活給付金や地域でのプレミアム商品券、マイナンバーポイント還元などが底上げにつながると良いのだが。
		スーパー	新型コロナウイルスの第2波が来なければ少しずつ良くなっていくと思うが、それでも、先の見通しは立たない。
		スーパー	新型コロナウイルスが収束していない現在、第2波の心配がある。
		楽器販売	数か月でこの騒ぎが落ち着くとは思えない。
		バス運転手	緊急事態宣言は解除となったものの、夏のイベントの多くが中止となることから、回復は見込めない。
		観光名所	感染予防対策をしているが客足は遠のいており、今後予定しているイベントも大きく影響すると思う。
		レジャー施設	3か月後では現在の状況とほぼ変わらず、施設の入場制限や新型コロナウイルス感染拡大防止対策を継続していることが予想され、あまり状況は変わらないと感じている。
		理・美容店	予想がつかない。忙しくなることを願いたい。
企業	設計事務所	新型コロナウイルスが収束するとは思えない。引き続きコロナ対策を意識しながらの業務になると思うが、建築業界への大きな影響はないものと推測する。	
	製造業(印刷・同関連業)	新型コロナウイルスの影響で、まだ先が見えない状況である。	
	運輸業(道路貨物運送業)	新型コロナウイルスが落ち着いて改善に向かえば、少しずつ荷動きが戻ると思われる。	
雇用	求人開拓員	不動産業	新型コロナウイルスの第2波次第で景気は大きく変わる。事務所、店舗が空くことが予想されるので、新たに借り手が見つかるか不安である。
		求人開拓員	新型コロナウイルスの影響からの回復に事業の性質上時間のかかる業種や、二次的・三次的な波及効果による悪影響が表面化し、回復の効果が相殺され、全体では現状維持のレベルにとどまると考える。

やや悪くなっている	家計	農産物直売所	買い出しに来る、飲食業の客の買い上げ量が少ない。また、子供会等の団体から夏の予約の問い合わせも全くない。
		設計事務所	設計業は受注から収入まで、おおむね2~3か月のタイムラグがある。現在の受注減少傾向から仮に受注が早く回復したとしても、3か月先に「景気が回復する」とは考えにくく、やや悪くなっていると判断する。
	企業	製造業(一般機械器具)	大手は仕事量減少により内製化にシフトし、中小に仕事が出てこない。また、担当者がテレワークとなり、営業活動に制限があり打合せができず、受注ができなかった。
		製造業(精密機械器具)	新型コロナウイルスによるコロナ禍の稀に見る多大な影響は避けられないと思う。状況を見極めながら対策を検討する。
サービス業(コンサルタント業)		新型コロナウイルスの影響により先行き不安がある。	
雇用	人材派遣業	今後も良くなる兆しが見えない。	
悪くなっている	家計	スーパー	新型コロナウイルスの影響が続くので、観光、外食系の産業は厳しくなると思われる。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスの影響。
		観光型ホテル	新型コロナウイルスの影響がどこまで続くのか、先行きの不透明感が強い。また、第2波・第3波もあるのか不安でもある。
		旅行会社	新型コロナウイルスが終息しても、すぐには客が戻ってこないと思う。
		ドライブイン	当所もこの先、存続が難しい。
	企業	製造業(印刷・同関連業)	新型コロナウイルスの影響がまだ続く予想される。社会的には自粛も緩和されているが、客との話において、全然動きがみられない。
		製造業(窯業・土石製品)	新型コロナウイルスの影響が収まる状況ではないと思う。
		製造業(金属製品)	受注残もなくなり、新規受注も激減し、非常に厳しい状況となることが予想される。
		建設業	新型コロナウイルス感染予防による身の回りの生活環境が見えない。3か月経過して事業の判断をしたい。
		金融業	新型コロナウイルスの影響が思った以上に深く、簡単に戻るとは考えられない。
		建設業	新型コロナウイルスの影響で4月、5月の営業及び既存客との打合せができなかったため、そのしわ寄せがこれから来る。
	工務店	新型コロナウイルスの影響により官公庁からの発注の減少、民間の設備投資の減少が予想され、売上げが減少し、固定費が経営を圧迫する恐れがある。	
	雇用	求人広告	新型コロナウイルスの影響はしばらく続くと思う。
公共職業安定所		新型コロナウイルスの影響が非常に大きく、いつ終息するかにより、さらなる雇用環境の悪化が懸念される。	

(3) 鹿行地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
やや良くなっている	家計	小売業（菓子類）	今よりは新型コロナウイルスの影響は少なくなっていると思う。
		小売業	正直分からない。新型コロナウイルスの感染状況次第だと思う。やや良くなっているとの回答は願望だ。
		洋食食堂	3月の頃が「底」と思っていたが、4月、5月はさらなる「底」が待っていた。6月になり、やっと通常営業に向け再スタートが切れた。テイクアウトの需要の多さに驚いたが、店の再開を喜んでくださる客も多くいた。少しずつ以前の営業に戻っていくと思っている。
		割烹料理店	現在の状況よりは良くなると思うが、回復できるまではいかないと思う。
		日本料理店	新型コロナウイルスの感染が減ってきて、外出する人が増えてきていると思う。
		観光型ホテル	緊急事態宣言が解除され、数か月先の予約は少しずつではあるが増加してきているため、現在よりは景気がやや良くなっていると思う。
		運転代行	少しは売上げ、人の動きも良くなるような気がする。
		旅行代理店	政府の補助金が最大2万円であるというニュースを客が聞き、問い合わせがあるが、まだ具体的にどのようなものがわかっていないので困っている。しかし、少しずつ旅行に関心のある客が増えている。
		レジャー施設	夏から再開予定であるが、以前のように客数が戻るかどうか不明。
		理・美容店	早く普段の仕事ができればいいと思っている。
企業	企業	製造業（鉄鋼業）	現在は下向きだが、この状況が落ち着きつつあるので、少しずつ良くなってくると判断する。
		製造業（電気機械器具）	多少は良くなりそうだが、長期化が懸念される。
		運輸業（道路貨物運送業）	一般客のネットでの買い物が増えている。
変わらない	家計	コンビニエンスストア	今後も新型コロナウイルスが続いていくと考える。また、外出を控える人も多くなると考える。客数は継続的にきびしくなると思う。
		農産物直売所	客足が激変して増えるとは思えない。新型コロナウイルスの影響は継続的に続いていくと思う。
		農産物直売所	景気は変わらないが、新型コロナウイルスの新薬ができれば客足は戻ると思う。
		小売業（薬品店）	今月と同様の傾向が続くと思われる。
		小売業（食品）	各イベントが中止になっていて影響が大きい。
		小売業（書店）	新型コロナウイルスの影響でどうにでもなりそうだ。
		ドライブイン	新型コロナウイルスが収束しないと難しい。
		ゴルフ場	緊急事態宣言は解除されたものの、先行きの不透明感はぬぐえない。
		クリーニング店	3密はだめだということもあり、元に戻るまで年配の人は行動を控えている。これからは暑くなるので、マスクをつけての外出は厳しいと思う。
		企業	企業
運輸業（道路貨物運送業）	現状の動向から回復に向かうのは、もう少し先になると思う。		
金融業	一度落ち込んだ景気は、緊急事態宣言が解除されても一気に回復する気配もなく、様々な業種の経営者からの声はワクチンの開発が進むまでは以前の景気まで回復するのは困難と予測する意見が多い。個人消費についても同様で、先々の不安要素が拭えない状況で、依然として財布の紐は堅い。		
不動産業	新型コロナウイルスの影響は長く続くように感じる。薬の開発等には時間が必要。		
火力発電所	需給に変化はない。		
雇用	雇用	人材派遣業	新型コロナウイルスの影響が継続しそうである。
		学校就業関係者	今後、企業（業種等）によっては自粛等で活動が制限される恐れがあり、学生の進路に不安がある。

やや悪くなっている	家計	スーパー	キャッシュレス消費者還元が終了する。
		スーパー	周辺の工業地帯は鉄鋼をはじめ、操業状況は極めて悪い状況であり、観光や夏のレジャーやスポーツ合宿等の宿泊など、周辺の産業も低調が予測されているため、消費動向も減速すると思う。
		コンビニエンスストア	近辺の飲食店等、まだ客足がそれほどでもない様子。
		衣料品販売店	売上げゼロの日も増えてきてすぐに回復するような兆候がない。
		家電販売店	現状ほどの上がり方はないと思われる。
		小売業（薬品店）	新型コロナウイルスの終息が見えないと、受診患者が減って来ると思う。
		観光型ホテル	新型コロナウイルスの影響でやや悪くなると判断する。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスの影響でレジャー客、団体客、スポーツ合宿等の宿泊が減った。
	企業	製造業（化学工業）	新型コロナウイルスの影響で、需要減を映じて減産の動きが見られることから、景気はやや悪くなると思う。
		製造業（食料品）	ウィズコロナの意識の浸透と国民性からみても、景気の低迷は持続する。
		製造業（鉄鋼業）	引き続き、経営環境の悪化が続くのではないかと感じている。
		製造業（金属製品）	国民生活が従前に戻らない。
		建設業	公共工事については、特に善し悪しはないと感じている。ただし、民間工事については、少なからず新型コロナウイルス感染が影響し、悪くなると思う。
		保険業	観光バス会社の保険契約見直しで、保険料が下がってきている。
雇用	公共職業安定所	新型コロナウイルスの感染状況により大きく変動すると思われるが、回復するまでには時間を要すると思料する。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの緊急事態宣言も解除され、経済活動も少しずつ動き出し始めているが、未知のウイルスであることは変わりなく、3か月後に至っても、治療薬及びワクチン開発の進化がない限り、景気については過去の状態まで戻っているとは思えない。また、懸命な国や都道府県、市町村等の施策にもかかわらず、コロナショックの影響により厳しい状態が続いているのではないかと思料する。
		タクシー運転手	現状では何とも言えない。1日も早く生活を安定させるためにも、新型コロナウイルスを撃退しなければ景気回復は望めない。
		理・美容店	色々な業種で仕事が減っている話を伺うので、影響が出てくると思う。
		住宅販売会社	問い合わせがないことで商談から成約の流れに持っていけないので、特化した商品アピールを検討している。
		住宅販売会社	新型コロナウイルスを原因とする経済の停滞がある。
	企業	農業関係者	政府は中小企業に対して税金を投入し大規模な政策を立ち上げたが、スピード感がなく中小企業の経営環境は悪化の一途をたどっているため、今後景気が良くなると思われぬ。また、不要な外出はさけることから、消費者の購買意欲も減少傾向と思われる。
		製造業（食料品）	新型コロナウイルスの影響なので沈静化し、収束すれば景気は少しは改善されると思う。
		製造業（ゴム製品）	新型コロナウイルス対策が難しそうだ。
		不動産業	当分の間、今と同じか少しずつ良くなっていくと思う。新型コロナウイルスが全国的に「ゼロ」にならないとだめだと思ふ。また、世界的に減少しないとだめだと思ふ。
		サービス業	新型コロナウイルスが沈静化するとは考えにくく、現状が改善する見通しが立っていないことに加えて、内閣支持率が大幅に下落している現状から、景気が好転するとは考えにくい。国際情勢を見ると米大統領選挙の結果によっては流れが変わる可能性はあるものの、即効性は期待できないと考える。
	雇用	民間職業紹介業	海外需要が復活してこないと思料する。現在だと見通しが立っておらず、年内は厳しい状況のままいく予測。
		求人开拓員	仕事量は確実に減っており（土木建設業）、出している求人にもほとんど応募がないとのこと。公共事業等も入札に参加するが落札できない。現在雇用している従業員も高齢になってきているため、あきらめて廃業しようか悩んでいる様子である。

(4) 県南地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	和食食堂	「新しい日常」に向けて、経済活動が活発化すると思われる。
		都市型ホテル	流石に6月よりは良くなっていると思う。宴会の予約状況はまだ厳しく、キャンセルと少人数の受注の繰り返しとなる。今月より悪くなった場合は最悪のケースをも迎えると思う。
		テーマパーク職員	予約から年代別に推測すると、この先大人のグループでの予約が多い。現在は家族層が多く、新型コロナウイルスの影響で自粛から解放され、子供たちを遊ばせてあげようという世間の情勢の影響もあるが、大人だけの客が多くなる時は景気がいいように感じる。決して休日の余暇として安くはない当施設にお金を消費する大人の客が多くなることは、経済的に景気が良いように感じる。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	緊急事態宣言の時のプラスチックが給付金とともに発散され、経済全体がうまく回り始める。ただ、その裏で失業した方々も多くいたので、完全に景気が良くなるとも言えない。
		小売業	6/19からの都道府県を超えた移動の制限解除に伴い、お盆や夏休みの帰省に回復が予測される。
		衣料品販売店	ショッピングを控えていることに我慢できなくなってきたり少しずつ景気が良くなると思う。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスの影響が多少でも落ち着き、GoToキャンペーンなどの開始で国内の個人、団体旅行が動いてくれると期待したい。当ホテルは地域密着で地元の宴会需要も多かったことからウィズコロナの新しい様式を策定し、安心安全を販売していきたいと考えている。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスの感染も落ち着きつつある状況なら、客足は徐々に回復するものと思う。しかし、顧客企業のダメージが強く、今後3か月では回復の見通しは昨年の60~70%程度だと思ふ。
		タクシー会社	少しずつ良くなっていると思う。冬に新型コロナウイルスがきたらまた落ちそう。
		サービスエリア	新型コロナウイルスの感染拡大予防に伴う、各種自粛に区切りが付けば、それまで外出を控えていた反動から、来客数も増加に転じると考えられる。ただし、往来が増えることによる感染の第二波が生まれる可能性もあり、予測は難しい。
		ゴルフ場	現在までのように入場を制限したり、外出自粛により目立った集客ができなかった状況を最低とするなら、少しは良くなっていると思われる。
	企業	製造業（その他）	今、新型コロナウイルスの影響が底として、3か月後には少しずつ回復してほしいという願いである。
		製造業（非鉄金属）	4、5、6月で底を打ち、取引先の生産が徐々に持ち直す見込みであり、9月頃には正常化する予想。
雇用	求人広告	第2波、第3波の影響がない事が前提ではある。	
	公共職業安定所	経済活動再開となり、新型コロナウイルスが感染拡大しなければ、現在より良くなると思料される。	
変わらない	家計	スーパー	変わらないというよりは、新型コロナウイルスの影響がどのようになるかで大きく変化してしまう。
		家電販売店	新型コロナウイルスの影響で、来店客数が減る。
		洋食食堂	新型コロナウイルスが収束して安心安全が感じられない限りは、良くなる訳がない。ソーシャルディスタンス、消毒など気を使って人数も限定している。売上げは、大きなパーティーなどもなく大きく上がることはない。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響で在宅勤務が主流となり、タクシー利用の減少は免れない。観光においても、客も探り探りの状況なので3か月では動きがないと思われる。
		タクシー運転手	全国における新型コロナウイルスの収束がみられない。夜間の利用者が戻らないと思われる。
		ゴルフ場	緊急事態宣言は解除されたが、経済の回復は遅く、ゴルフなどのレジャーに向かうには時間がかかると思われる。
		レジャー施設	新型コロナウイルスの影響により現時点では判断できる材料がない。
	企業	農業関係者	新型コロナウイルスの影響により緊急事態宣言解除後も自主的に外出等を控える傾向である。
		農業関係者	今年度においては、新型コロナウイルスの影響が多大であり、例年との比較は困難である。今後の予測もどう変わるのか分からない。
		製造業（一般機械器具）	変わるような材料がない。
		建設業	9月になれば工事も出てくるが、限られた人数でやっているの、全体的にみれば工事量も利益も変わらず、景気は変わらないと思う。
		運輸業（倉庫業）	アルコール関係は今後落ち着いてくると思われるが、生産は昨年よりも増え続けているので、在庫は出庫に間に合うように増加する。
	金融業	緊急事態宣言も解除され、徐々にではあるが人も動き出している。しかし、感染リスクがあるため、人との接触をなるべく避ける行動の定着が消費を抑制している面がある。また、イベントや学校の各種競技大会の中止、更には夏休みの短縮等、人・物・金の動きが活発となる要因は少なく、先行き景気は悪化したままで変わらないと思われる。	
雇用	学校就業関係者	例年通りの求人が変わらず見込める。	

やや悪くなっている	家計	スーパー	特需が続かないと思う。
		スーパー	新型コロナウイルスが落ち着き、外食等が元に戻れば、売上げは元に戻る。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスにより、やや悪い、または悪くなっている。また、消費税の増税もある。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	秋以降の見通しが立たない。
製造業（窯業・土石製品）		新型コロナウイルスによるコロナ禍の影響で国、自治体からの仕事発注が一時停滞する事が予想されるため、今後は出荷が停滞するのではないかと考える。	
製造業（窯業・土石製品）		訪問自粛の影響による受注の減少が、今後どの程度回復できるかが不透明である。	
不動産業		景気改善の様子が見えてきていない。	
悪くなっている	家計	スーパー	キャッシュレス消費者還元が6月30日で終了することによって、悪くなっていくと思う。
		小売業（生花店）	新型コロナウイルスの影響が当面続くと思われる。
		小売業（米穀）	緊急事態宣言が解除されても、すぐには景気は戻らないと予測する。結び付きの飲食店、事業所等で3密を避けると良くなるはずがない。
		和食食堂	新型コロナウイルスの関係。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響がまた出てくると思われる。
		ボウリング場	消毒液など特定分野への消費は増えるが、今後何が起こるかわからない状況なので財布の紐が固くなりそう。
		理・美容店	当然、新型コロナウイルスの影響で悪くなっているだろう。飲食業だけでなく、全体的に悪くなっていくだろう。
		理・美容店	新型コロナウイルスの影響。
	企業	製造業（食料品）	大型イベントの中止が決まっていて、その分の注文がないのが分かっている。
		製造業（印刷・同関連業）	今後、広範な業種に景気の低迷がじわじわと広がるように思われる。
		不動産業	自粛解除とはなったものの、以前のような経済活動が行われるようになるにはかなりの時間を要するものと思料する。PCR検査の普及、薬の開発等により新型コロナウイルスがインフルエンザと同レベルの処置ができるようにならない限り、難しいのではないだろうか。
	雇用	民間職業紹介業	自動車関係をはじめ、製造業では消費低迷や政治的問題で輸出に影響がある。

(5) 県西地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント	
やや良くなっている	家計	商店街代表者	食品を生業としているので、他業種よりはやや良くなっていくと思うし、そうなってほしい。	
		自動車販売店	新型コロナウイルスが全体的に落ち着いてくれば良くなると思う。	
		小売業（酒類）	希望的観測。新型コロナウイルスの大きな「第2波」が起きなければ、このまま上昇していくと思う。夏のイベントがすでに中止が決定しているのでその影響がどう出るかわからない。	
		日本料理店	V字回復はないとしてもゆるやかに良くなっていくと思う。早く「Go Toキャンペーン」など実現させてほしい。3か月後がある程度良くならないと、かなり厳しいと思う。	
		食堂	3か月後は新型コロナウイルスも今現在よりは落ち着いているのではないかと考えている。	
		和食レストラン	新型コロナウイルスの影響で売上げがとてつもなく下がり、客数も減少して景気が悪くなっていたが、少しずつ元の状態に戻りつつあるので良くなっていると思う。	
		旅行会社	このまま収束に向かえば今まで我慢していた分、外に出てお金を使う人は増えていくと思う。今よりも秋頃からの予定や計画をしている人がたくさんいる。	
		タクシー運転手	6月になってから都内も自粛宣言が解除されつつあり、飲食店も始まりつつある中で、駅での乗り越し客が徐々に始まった気がする。客の中には「2か月テレワークをやっている、精神的、肉体的に何か調子悪くなって病気になるそう」という声があり、新型コロナウイルスの影響はものすごいものだと感じている現状である。	
		ドライブイン	現在が底であると思う。新型コロナウイルス感染症対策をしっかりとやりながら、経済が回ることを期待したいと思う。	
		ゴルフ場	今まで来場のなかったゴルファーや、ファミリー層などの外出傾向が高まってくると予測する。	
	レジャー施設	若干ではあるが客足が戻ってきて動きが出てきていることを実感している。		
	企業	製造業（窯業・土石製品）	車載パーツ製品の出荷が少し回復の兆しがある。	
		製造業（化学工業）	新型コロナウイルス影響が若干改善すると思う。	
		製造業（窯業・土石製品）	当社は関東、特に首都圏に得意先が多いので、新型コロナウイルスの感染対策上、営業ができなかったり、客の来店を控えていたが、6月に入り少しずつ営業ができる状況になりつつある。当社加工メーカーは、今までも毎年下降していた売上げが新型コロナウイルスの問題がさらに追い打ちをかけて悪くなっているが、今以上の努力をして良くしていく。今が悪すぎる。	
		不動産業	賃貸売買とも、東京、埼玉方面からの客が増加傾向にある。3、4、5月はアポがあったにもかかわらず、キャンセルが多かった。	
	雇用	求人広告	今が最大に悪いため、これ以上の悪化はなかなか考え難い。客もポジティブな意見が比較的多い。	
		求人開拓員	新型コロナウイルスにより景気が減速した現状からは徐々に回復軌道に乗るのではないかと考える。	
	変わらない	家計	スーパー	先行きが不透明。
			コンビニエンスストア	新型コロナウイルスが落ち着いていくと客数は若干改善するが、客単価の減少が予想されるため、変わらないと思う。
コンビニエンスストア			現在、生活環境の変化においてコンビニエンスストアがスーパーマーケットのような使われ方になり、客単価が伸び、売上げが回復傾向にあるが、これからさらに経済が復旧し、各小売店やサービス業（飲食業）の営業が元に戻るにつれて、コンビニエンスストアの売上げは鈍化傾向になると思われる。そのため、結果的に今と大きく変わらない状況が続いていると考える。	
衣料品販売店			季節要因以外の来店者はいない。	
農産物直売所			新型コロナウイルスの状況次第だが、3か月後も今と同じ状況が続くと景気回復は望めない。	
メガネ・時計販売店			新型コロナウイルスの状況いかに変わってくると思う。	
製茶販売			新型コロナウイルスの影響がなくなるとは思えず、期待していたオリンピックも危ぶまれる今、良くなる理由が見つからない。	
タクシー会社			変わる要因がない。	
理・美容店			現在は全体の休業明けで消費に回っていると思われるが、今後の感染状況によっては個人店の影響は大きくなると思う。	
設計事務所			3か月では当社の業績には変化がない。	
企業	農業関係者	経済効果として、良くなる条件がない。		
	製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスの第2波、第3波が今後想定され、先行きが不透明で、この状態がしばらく続くと思われる。		
	製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスの影響で顧客の営業活動の停滞が続くので、良化するには時間が必要。		
	製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスが収束しない限りは現状が継続すると見込んでいる。		
	建設業	特に変化を感じないため。		
	サービス業（コンサルタント業）	新型コロナウイルスが完全に終息するとは思えないので、その影響が残るような感じである。		

やや悪くなっている	家計	スーパー	必要な商品のみを購入する傾向が強い。嗜好品や余計な物は買わない。支出を抑えている。この先どうなるか、不安要素が強い。
		ドライブイン	新型コロナウイルスの影響で再び外出の自主自粛傾向にある。
		ゴルフ場	新型コロナウイルスの影響での予約状況により、やや悪くなっていると判断した。
		商店街代表者	新型コロナウイルスの影響により、例年7月後半から9月に実施される夏まつり、盆踊り、花火大会などの一連の行事の中止が決定している。そして、依然として「ステイホーム」がマスメディアによって発信されている。このような状況で、消費が落ち込むなか、3か月先の景気の回復は厳しい状況にあると考えられる。
		設計事務所	新型コロナウイルスの影響で普段のペースが乱れ、結果的に非効率で景気が悪化していると言える。
企業	製造業（印刷・同関連業）	イベントや研究発表会などが、10月から11月まで中止になっている。ポスター、パンフレットなどの発注のキャンセルが続いている。	
	製造業（金属製品）	3か月先は上期末の時期になるので買い控えも考えられるが、大きな落ち込みはないと思われる。	
	製造業（金属製品）	お盆前後には受注予定がある。	
	建設業	工事の発注見通しによるが、材料や労務単価の高騰もあり、景気はやや悪くなると思う。	
雇用	人材派遣業	取引会社の情報により、やや悪くなっていると判断する。	
	人材派遣業	見通しが立たないというのが正確な回答である。緊急事態宣言が解除になり、一部の企業では採用再開をしている動きがあるため、景気回復の兆しは若干あるかと思いい、やや悪くなっていると判断した。	
	学校就業関係者	特段良くなる要素がないように思われる。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの影響がまだまだ尾を引いていると思う。
		レストラン	新型コロナウイルスによるコロナ禍により飲食店は状況が一変した。すぐに客が前の状態に戻るとは考えられない。テイクアウト弁当などをやっていたらなければならない。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスの影響がある。
		旅行代理店	もっと悪くなるだろう。仕事がない状態が半年続く場合には、会社はやっていけなくなる。当社は日給月給であるため、働いた給料だけ支払うのだが、社員は大変であると思う。会社も経費だけかかるので大変である。
		タクシー運転手	飲食店は全店休みが多いし、タクシーの利用者数も少ない。タクシーの見通しがつかない。
		クリーニング店	先の見えない新型コロナウイルスの影響で経済が今までのようにはなかなかならないと思う。
		企業	製造業（非鉄金属）
金融業	新型コロナウイルスの沈静化には薬の開発が必要不可欠であり、その開発まで時間を要し、また客も自粛している。		

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	まずは、マスク関連商品から消費が始まり、近場からの外出がはじまり、洋装品などが売れ始めると予想。
	商店街代表者	4月オープンを予定していた店舗が、工事を中断して秋まで延ばしたり、予定していた店舗建設を中止したりなど、先の見えない現状に設備投資を控えようとする経営者の動きが目立ってきている。
	スーパー	新型コロナウイルス絡みから、仕事の休みが今も続いている人の話や預金を切り崩して生活をしている人の話を聞く。特に、アルバイトで働いていた人は契約の打ち切りが発生している。
	スーパー	新型コロナウイルスの最中は、お店が休み等のこともあり、家でお酒を飲む、家飲みが必要があった。酒で前年の120%ほど売れた。
	スーパー	3月～5月に比べて、一度に買う量は落ち着いている。逆に必要な商品だけを買う傾向にあると思う。
	酒・各種商品小売業	緊急事態宣言も解除され、飲食店も営業を始めだした。
	コンビニエンスストア	客数が厳しい反面で、客単価が上がっている。経済面を気にして来店されない方と、経済面を気にせず「衛生」を優先される方と、格差が非常に大きくなっているように感じる。
	衣料品販売店	祭り・イベント等の中止。店の閉店も考えることもある。
	コンビニエンスストア	台風19号の復興作業と、国道118号線のバイパス工事をやっているせいか、関係者や関係車両が多く見受けられ、活気が出てきている。
	小売業（弁当・惣菜店）	新型コロナウイルスの影響はまだまだある。今後は衛生対策費の増大でコストアップが心配。
	小売業（燃料）	遠出をしないため、売上げ減となっている。
	小売業（酒類）	大型店、スーパー（ドラッグ、食品関係）等は、集客が多い。
	小売業（水産物）	飲食業の客が休業し、売上げが減少した。今後、新型コロナウイルスが収束しない限り、運営が維持できるか不安である。
	小売業（時計）	10万円の給付金で中級品を購入してくれた方は1名だった。サーズ（SERS）の時よりは少し早い回復を期待したい。
	レストラン	新型コロナウイルスが早く収束してほしい。
	ラーメン店	新型コロナウイルスの出来事で茨城県民がまとまりつつあり、（業態関係なく）飲食店でも互いに協力をしたりと、大手企業の参入に負けじと戦い、市町村の自営業や中小企業がプラス傾向に向かうのではと期待を持っている。結果、景気に関係して上向きに行けそうである。
	スナック	解除されてからは、ホームセンター、海等に人があふれている。
	ラーメン店	この地域は高齢者が多いため、自粛をしてあまり外食に出歩かない気がする。
	観光型ホテル	6月末でキャッシュレス消費者還元が終了するため、駆け込み消費が増えている。
	観光型ホテル	近隣のスポーツ施設が解除され、多少は動いている様に見えるが、まだ全体の1割程度と見受けられる。
	観光型ホテル	新型コロナウイルスの第2波が来れば、宿泊業、飲食業は壊滅的な打撃を受けるだろう。職場の中で転職を考えているという人も出ている。
	タクシー運転手	定額給付金の振込などにより、スーパー、飲食店（昼間）など、一時的な混雑が見受けられる。テイクアウトの食品に対しては、市の補助がある。また、家族連れの買い物客が増えている。
	ドライブイン	ゴム手袋、アルコール消毒剤、マスク、色々と必要な資材が増えて、対策もとらないと営業ができない。いつまで続くのか。客でマスクをしていない人が多くて驚く。
	レジャー施設	国や県の方針に国民が協力して、感染症を抑制している状況が感じられる。ただし、緊急事態宣言中にも開業していたスーパーやドラッグストアなどは、多くの買い物客が見られた。しかしながら、一部の者を除けば、国民のほとんどの者が予防策を行っており、日本の国民性のマナーの高さを改めて感じた。
	ゴルフ場	テレワークが進んでいるが、いつ会社に出勤ができるかわからないとの話をよく聞く。まだまだ新型コロナウイルスが心配だという年配者の方々の話も聞く。
	ゴルフ場	6月の来場者は、新型コロナウイルスの緊急事態宣言解除に伴い、ゴルファーがやや盛り返している。ゴルフ業界は、9月までは新型コロナウイルスの感染防止のためイベントを中止している。9月以降の挽回を期待したい。
	ゴルフ場	レジャーに関わる行動や支出について、一部積極的に行いたいという層がうかがえる。短期的には新型コロナウイルスの情勢による部分が大きいですが、中期的には回復傾向は間違いないと感じている。
写真店	自宅にいた期間がいつもより多かったためか、野菜類を作っている方の収入は多かったとの声を聞く。	
写真店	業種により、新型コロナウイルスの影響の差が大きい。	
住宅販売会社	東海村においての話だが、原子力の再稼働に向けて動き出しているため、安全対策工事を行っており、まわりの賃貸物件の空きがなく不足の状態にもなっている。そのため、村に対する人口増加が見られ、地域活性化にはつながっていると思う。特に飲食関連は動きがいいと思う。	

企業	林業関係者	近隣のバイオマス施設での材料調達の難航により、価格の見直し等がおこれば、この部分は活発な動きをすると見込んでいる。
	製造業（電気機械器具）	テレワーク勤務や宴会・送別会・旅行等の延期が見られる。休日は、ガーデニング・家庭菜園・家の片付け・草刈り等をして過ごしている。
	製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスの影響により、工事が延期になっている件名等がある。
	製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスの緊急事態宣言が解除されたことにより、個人消費が少し戻り始めていると感じる。3か月前より、市街地（水戸地区）の店や飲食店に客が増えたように感じる。
	製造業（化学工業）	新型コロナウイルスの影響で、人々の消費マインドが落ち込んでいる。一方で、補正予算等で資金が市場に流入することを考えると、再びデフレが起きるのではないかという意見がある。
	製造業（電気機械器具）	少しずつ中国向け案件が動き出したように見える。しかし、新型コロナウイルスや米中関係により、いつどのように変動するか掴めず、不安が残る。
	製造業（一般機械器具）	新型コロナウイルスの対応に伴い、駅周辺の活気がなくなっており、飲食店においては厳しい状況が続いていると感じている。
	製造業（輸送用機械器具）	今までのように大人数でのイベント開催や移動をすることが厳しくなり、新たな生活環境を創造しながら、経済活動を進めていくことになるため、感染拡大前の経済状態に戻るには長い時間がかかるものと想定される。
	製造業（精密機器）	大企業は自宅で仕事などを行っている。中小は休みが恒常化してきたところもある。
	製造業（精密機器）	周りは休んでいるのでそれも大変だが、良い話はない。回復することを願うだけである。
	金融業	緊急事態宣言解除後の自粛ムードは買回り品等を取り扱う小売店を除き依然として続いている。
	不動産業	客とリモートで接することが出来る営業の業種は、今後営業スタイルの変化が見られるかもしれない。
情報通信業（情報サービス業）	根本の日本経済が動き出さないと、観光・飲食等のサービス業以外の全産業にも影響が大きくなってくる。	
雇用	求人開拓員	県内の新型コロナウイルス事情については、ステージ1になったとはいえ、大型小売店等にも以前のように人は戻っていないようである。早く平常に戻ってほしい。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	3月末から5月末にかけては、今までに経験したことがないような低迷した営業状態が続いた。6月になり、少しずつだが、日常が戻ってくるにつれて、改善してきているように感じる。ただ、元に戻るのには長い時間がかかりそうだ。
	小売業	引き続き、不要不急な買い物の自粛、人混み回避ムードが見られ、客足が鈍い。
	小売業	3密を気にしながらも買い物を楽しむ客は増えてきている。食品では宅飲み用のビールやワイン、日本酒と惣菜や刺身が動いている。消耗品ということもあるが、化粧品もテスターが使えない状況なのに好調に推移している。
	家電量販店	思った以上に給付金による購買動向が大きく動いている。本来の給付金の使い方と違うイメージであったが、買ったかったものをこの機に購入するというのも理にかなった使い方なのかと思った。
	小売業	仕事、学校も始まり、ストレスは少しずつだが減っているように感じる。
	自動車販売店	当社の客は、新型コロナウイルスの影響をさほど受けていない客（富裕層）が多いようだ。また、新型コロナウイルスに関してもそこまで意識はしていないようである。周りで騒いでいるので、様子を見ている状態の客（法人関係）も多いようである。
	農産物直売所	ギフトの価格を気にする客が多いが、その反面、入荷量の少ない高価な果物（プレミアムメロン、太陽の玉子マンゴー）などが例年より売れている。
	楽器販売	今は各人生きるのに精いっぱい。当社のような趣味層の需要は厳しい。
	レストラン	高額利用の客が増えている気がする。
	都市型ホテル	悪い話ばかりで先々不安である。
	観光型ホテル	緊急事態宣言が解除されたこともあり、週末に海で遊ぶ方が見られたり、県をまたいで移動自粛はあるものの、他県ナンバーの車が見られるようになった。
	旅行代理店	先行きは全く読めない状況で、あくまでも新型コロナウイルスの状況次第だと思う。
	旅行会社	このままでは、会社が成り立たないのではないかと心配である。
	バス運転手	休業や在宅勤務等で家にいる時間が増えたせい、ホームセンターの駐車場が、平日にもかかわらず、増設された場所も含めて満車となっていた。
	タクシー会社	常連客の病院や買い物といった普段の流れが止まっている。
	ドライブイン	この先が全く見えない。
	スーパー銭湯	千波湖周辺、笠松運動公園等の屋外施設に多くの人たちが集まっており、新しい余暇の活用がみられており、新型コロナウイルスの収束がみられた時期になっても屋外での楽しみ方は続いていくのではないかとと思われる。
	ペット美容室	思いもかけず、新型コロナウイルスの影響は波及している。ダイレクトなダメージは感じなくても、時間の経過とともに実感していく職種も多い。クリーニング店もそうである。ホテル業がないとリネンの利用がない。会社へ通勤しないとスーツを着ない。スタッフの制服の必要がない。
	設計事務所	web会議が多くなっている。移動時間がない分、仕事の効率が上がった。
	設計事務所	笠間市内では、笠間市と笠間商工会の住宅や店舗等のリフォーム補助事業が4月中旬に始まった。住宅は10万円、店舗等は20万円を上限に工事費の10%を補助金として提供するものだが、新型コロナウイルスによるコロナ禍や景気低迷と言われるなか、応募が少なく、予算消化に年末までかかると考えていたが、応募2か月ほどで約60件、当初予算に達した。新築に比較し、リフォーム工事では潜在的な需要があることを実感した。
企業	製造業(食料品)	得意先でいわゆるコロナ廃業が発生した。
	製造業(食料品)	6月に緊急事態宣言が解除されたものの、消費はまだまだ厳しいと思われる。中元商戦、帰省などでどの位需要が出るか。今後の3か月の結果で、下期の再度修正が必要となる。
	製造業(印刷・同関連業)	新型コロナウイルスの影響で当社の取引先は大変な状態を迎えている。
	製造業(印刷・同関連業)	仕事(経済)が止まっているように感じる。
	製造業(一般機械器具)	新型コロナウイルスの第2波に警戒しなくては行けないが、これからは新型コロナウイルスと共存し、経済を回していかなければいけない。そのための治療薬開発を急いでほしい。
	製造業(精密機械器具)	新型コロナウイルスのコロナ禍における陽性・陰性検査に関連して、検査に関わるものづくりの協力会社を探しているようである。
	建設業	新型コロナウイルス感染対策から業界の動きを推察すれば、それぞれの業種が先駆けて、新規の営業に食い込む閃きを持った経営者でありたい。
	運輸業(道路貨物運送業)	相変わらず会議や各種イベントが中止になっている。
	金融業	飲食業のテイクアウトサービスが顕著である。リモートワークが増加し、パソコン関連が必要増となっている。
	不動産業	新型コロナウイルスの影響で、業務、サービス提供のやり方を変更せざるを得ない状況は続くと思われる。顧客に安心感を与える運営方法を取ることが課題。
	建設業	問屋や道具屋、金物屋が皆秋から冬にかけて仕事がなくなるのではないかと聞いている。先行きが見えない状況。
工務店	飲食業、タクシー業、代行業、観光業などに苦戦が続いていると耳にすることが多々ある。	
雇用	求人広告	廃業や閉店が増えたと思う。
	公共職業安定所	新型コロナウイルスの影響が大きい。雇用調整助成金の申請は膨大な件数が提出されている。
	求人開拓員	水戸駅改札口付近での通勤・通学時間帯の混雑が(元通りに)目立つようになった。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	当管内では、新型コロナウイルスによる景気の刺激策として、プレミアム付き商品券の発行を夏季に検討しており、落ち込んだ地域の活性化を図ることが出来るように、期待しているところである。
	スーパー	新型コロナウイルスの影響により、午前中に客が集中している。
	スーパー	緊急事態宣言中は、明らかに午前中の来店客数が多く、混雑が集中し、夜間の来店客数は大幅に減少したが、直近では夜間の売上げが回復してきている。
	衣料品販売店	町の小さな小売店、飲食店はどこも厳しい状況である。不安な話をよく耳にする。
	小売業（菓子類）	4月、5月よりは人出が多くなってきているように感じるので、少しずつ景気は上向くかもしれない。
	小売業（食品）	北浦地区の同業者に聞いてもいい返事が聞かれない。
	小売業	新型コロナウイルスの外出自粛を少しずつ弱めて、外へ出て活動をする方が増えてきている。当然、お金が動くので良いことだと思う。
	小売業（書店）	やはり新型コロナウイルスの影響で先が不安である。客の消費も厳しくなっていると思う。
	洋食食堂	約40年続けてきたもう1軒のレストランを閉店した。繁盛店だったが、新型コロナウイルスの影響をまともに受け失速した。飲食店も新しい「生きのびる道」を探し実行していく時が来た。
	割烹料理店	政府の言う、無利息、無担保融資も長期返済にすると（3年過ぎると）利息がかかってくるのが厳しい話だと思う。
	海鮮料理店	世界中で新型コロナウイルスのために全ての人の生活が変わり、今までと違い何時と予想をたてることができない現状にとまどっている。当店においては、2月9日から7月13日までの観光会社の予約、法事等がキャンセルになり、まったく先が見えない。
	観光型ホテル	持ち帰り料理を始めたが、微妙な状況。当ホテルはスポーツ合宿、サッカー大会が主な客である。3月から今現在までほぼ宿泊なし、日帰り入浴の客が来てくれるくらいである。厳しい。
	観光型ホテル	新型コロナウイルスの影響で、県外からの客が減少し、県内の客が多くなったように感じる。
	運転代行	景気の回復はまだまだ時間がかかり、期待できない。この先、どのように変わって行くのか不安を感じる。早く景気の良い日が来ることを願っている。
	旅行代理店	観光地の受け入れ態勢も徐々に緩和されてきているが、まだ国内のみだ。
	タクシー運転手	新型コロナウイルスが発生し仕事量も激減し、給料も大幅ダウン。今回初めて経験したが、歩合での給料体系では、このような状況になると非常に弱い。
	都市型ホテル	業種関係なく、周囲の店が閉店している。
	ゴルフ場	企業全体の60%以上が業績悪化とニュースで報じていた。
	ゴルフ場	来客数は回復しつつあるも利用金額は大幅に下落している。
	レジャー施設	県外からの車の減少。レストラン、飲食店の客数が少ない。
理・美容店	3月以降、新型コロナウイルスの影響で店も危機感もあったし、客も仕事の休みが多くなり、日ごとに客がぼつりぼつりになっていた。ここ2週間位、多少ではあるが増えたように思う。	
クリーニング店	都、県をまたいでの移動はいけませんが、近くのゴルフ場は東京、千葉の客でにぎわっている。	
住宅販売会社	妻が2月末から海外にいるが、新型コロナウイルスの影響で帰ってこれなくなり、家事等に困っている。	
企業	農業関係者	他県からの客に、例年どおり店舗に来店して頂けている。しかし、このことを近隣住民は心配している様子で、例年どおりの販売戦略が難しい状況だ。
	製造業（化学工業）	スーパーに買い物に行くとき意外と混んでいる。学校が休校になったので、手軽に調理できるインスタント食品、冷凍食品を購入する人が多いと感じる。
	製造業（食料品）	主要取引先のリモートワークや、一部在宅勤務の解除が進まない点からも、長期低迷は続くのではないかと。
	製造業（電気機械器具）	全業種を通じて危機的状況。
	製造業（金属製品）	新型コロナウイルスの影響によって、人の生活は大きく変化。労働、消費が低迷している。
	建設業	新型コロナウイルスの防疫、東京アラート解除。自粛から解かれたものの心配は尽きない。
	運輸業（道路貨物運送業）	現在も生産量を減らし、8割出勤の工場があると伺っている。
	金融業	事業者では設備投資の延期、個人消費面では住宅取得の再検討など、慎重な動きが続いている。更に、東京オリンピックが実施されるのかが今後の景気に大きく作用するという意見を口にする経営者が多い。
	保険業	米の値段が下がっている。
	不動産業	3月から3か月くらいで世の中が新型コロナウイルスによってこんなに変わってしまうとは恐ろしいことである。ただ、業種によっては売上げがあまり下がらない業種もあると思う。
不動産業	健康面、気候変動など、現在の生活をとりまく環境全てで、悲観的要素ばかりが強調され、また実際の状況も同一である。	
雇用	人材派遣業	新型コロナウイルスの影響と一部の鉄鋼業の低迷により、当面改善が期待できない。
	公共職業安定所	新型コロナウイルスの感染拡大による行動自粛が見られる。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	新型コロナウイルスの感染ピーク時には品切れしていたマスクやアルコール消毒剤が入荷するようになり、買い溜めもなくなった。
	スーパー	ここ数か月の消費動向は、今まで経験したことのない動きであり、はっきり言えば先のことは何も予測はつかない。
	コンビニエンスストア	霞ヶ浦での釣りの客が減少している。
	コンビニエンスストア	新しい生活様式が始まったことに伴い、在宅中に楽しめるゲームなどの娯楽用品が人気となっている。また、いかに快適に過ごすかを考え、家具や家電を買い替える人も多くなってきている。
	小売業	ウィズコロナに向けた新しい生活様式に対応した需要と供給。テレワーク、巣籠りに対応した商材に大きな動きがある。飲食では、テイクアウトが増加。冷房機器の早期対応、デスク関連商材、ゲーム機器等の動きが活発。滞留時間が短くなり必要最小限の購買が目立つ。
	衣料品販売店	外出自粛生活にストレスを感じてどこかで発散する感じで買い物をする人が多い。
	小売業(米穀)	駅周辺の駐車場の空気が半端でない。自販機の売上げも過去最低を記録している。
	和食食堂	新型コロナウイルス一色。
	和食食堂	緊急事態宣言が解かれ、徐々に売上げは回復しつつある。
	洋食食堂	ファミレスの閉店や、スナック、定食屋の高齢化による廃業が見られる。飲食業のお弁当持ち帰りの旗が立っているのが目に入る。
	都市型ホテル	同業やその協力会社の倒産など厳しい状況がある。特にブライダルや宴会関係は悪化傾向。中小企業でも新型コロナウイルスによるコロナ禍の影響を受けている企業と受けていない、むしろ売上げ増の見えるところもある。ホテル・レストランなどは影響大である。
	都市型ホテル	ホテルを利用していただく客(ホテルとは別業種)からは、5月まで通常通りに仕事があったが、自粛期間中(4~5月)に打合せなどが出来なかったことが原因となり、6月、7月の仕事が減ったという方もいた(工事関係の職種)。同じ業種のホテル(特にビジネス系)も厳しい状況と聞いている。
	都市型ホテル	新型コロナウイルス感染に皆気を使って生活している。もっと早く、誰もが簡単に検査できるようにならない限り、どの業種でも安心して仕事に打ち込むことができない。今の政府では無理。検査体制がしっかりしていれば、4~5月の自粛はあそこまでやることはなかったはず。失業者、倒産会社を大多数出してしまった現状では、来年まで景気は回復しないと思う。
	タクシー運転手	少しずつではあるが、工業団地の動きは増えてきている印象。商業施設の再開等で人出や交通量は平常とかなり近い水準まで戻っている。
	タクシー会社	少しずつ売上げも伸びている気がする。
	サービスエリア	県外移動自粛の解除を受け、若干家族連れの客に動きが見られた。
	ゴルフ場	6月から緊急事態宣言解除によりメンバーの来場がやや回復してきたのは、ほんの少し明るい材料。
	ゴルフ場	少しずつ規制が緩和され、サービス業も集客や営業時間を延長するなどしているが、密にならないような加減が難しい。早くワクチンが出来ることを望む。
	テーマパーク職員	リピーターが多く、2週続けてご来場いただいたり、遊んだ帰りに翌月の予約を取られる方を見受けられる。短いスパンで同じ場所にお金をかけるということは、現在の情勢からみて、屋外で他の客との距離感を維持しつつ新型コロナウイルスの影響をそれほど大きく受けずに遊べる当施設のような場所は、世の中の経済の動きとは別で景気がよくなっていくように感じる。
	ボウリング場	当店のような娯楽施設は新型コロナウイルスの影響(休業・売上減)でかなりのダメージを受けている。今後、存続できるかが心配。
理・美容店	最近1000円カットに行っていた方が、待っている間の3密が怖くて普通の床屋に行くというのが増えているらしい。当店にも何人かそういう方が来られた。	
理・美容店	営業時間が短くなっていて閉店しているところがある。	
企業	製造業(窯業・土石製品)	来年は最悪な年になりそうだ。
	製造業(印刷・同関連業)	消費意欲の減退が感じられる。
	製造業(その他)	新規案件も新型コロナウイルスの影響でストップまたは先送りになっている話も聞く。
	製造業(窯業・土石製品)	新型コロナウイルスの第2波、第3波がどういう規模で起こるか心配である。
	製造業(非鉄金属)	協力会社各社も資金繰りに窮しているが、各種対新型コロナウイルス政策を活用して耐え忍んでいる様子。
	製造業(一般機械器具)	個人消費が活発になってきている。
	建設業	飲食、接待関係の会社は新型コロナウイルスの影響をまともに受けているが、建設関係の周りの会社は今までと変わっていない。かえって、新車のバンや重機を購入したり、景気のいい中小、小規模土建屋が多くみられる。
	不動産業	新型コロナウイルスの影響で世の中の閉塞感が大きく影響していると思う。
	金融業	バスや電車等公共交通機関を利用せず、マイカーでの通勤が増加しており、またトラック等も増加しているため、以前より通勤時間滞で道路が混雑している。
	雇用	民間職業紹介業
公共職業安定所		イベント、旅行関係は、景気回復に他の業種よりも時間がかかると思料される。イベント、夏のイベントがほとんど中止となっており、業務量が増えない。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	消費者の大部分である地域の年配者達は、身の安全を考えるために、無駄な消費は極力控えている。
	商店街代表者	医院（個人）の奥様も「患者が少なくて」と言っていた。いわゆる富裕層にも新型コロナウイルスは影響するのかもしれない。
	スーパー	新型コロナウイルス疲れか、各々ストレスがたまっているように見える。クレームに関しても言いがかり的な内容も多く、不安やストレス等をうまく消化できていないと感じている。
	スーパー	特別定額給付金の給付が始まったが、消費に即回すような話は聞こえてこない。
	コンビニエンスストア	新型コロナウイルスにより客数が減少しているが、客単価は向上している。しかし、トータルではマイナスである。
	コンビニエンスストア	今まで、コンビニエンスストアを使ったことがない客が来店していると感じる。コピー機やATMの使い方を教えてほしいという声がある。行く店舗を限定している行動や、インターネットショッピング、配達物の急増が見られる。
	小売業（酒類）	皆が一日も早く普通に帰りたいたいと思いつつ、それでいて感染予防を第一に考えながら苦しい中でもお金も物も人も動かそうとしているのが顕著。この頑張りがいままで続くのか？気力が続くうちにいい景気の波にのれたらいいと思っている。
	製茶販売	遠出できないので、許されている買い物には出てくるが、収入が減っているで前ほど買い置き等する人は減ったようだ。そして、衣類等さしあたり我慢できるものは安売りをしているも買う人が少ない。国が10万円を支給したが一回だけでは今後不安である。金額は少なくなっても、コロナ騒ぎがなくなるまで援助してもらいたい。
	レストラン	ランチタイムの客は少しずつ戻ってきているが、夜の客がほとんど来ない。一般的に、店に関しては不要な外出は控えている状況が続くと思う。
	日本料理店	茨城県は1か月以上感染者が出ていないので、決められたルールにのっとりもう少し経済を回していくことを願う。
	食堂	様々な物の価格が上がっているように思える。
	旅行会社	飲食店の回復が目立つ。特に夜。お酒の飲めるお店は遅くまで賑わっているように思われる。
	旅行代理店	全体が新型コロナウイルス騒ぎであり、生活必需品は買わないと生きていけないが、買うためのお金が回らない。先日政府から1人当たり10万円の振込があったが、半分の5万円は生活費に使ってしまった。節約しても足りないのが現実。年金が6月15日に支給されるのでなんとか2～3か月は生きていけるが、その後はどうするか。
	タクシー運転手	小料理店のママを良く乗せるが、4月、5月頃は「また今日も全部キャンセルになってしまった」と毎回言っていてこちらも相槌を打つしかなかったが、6月の声を聞いてから乗せると大きな声で「予約が3か月ぶりに3組入った」と言われ、80才を過ぎたママさんから元気ももらった。
	タクシー運転手	商売をしている人に聞いてみると全ての人々が困っている話をよく聞く。
	ドライブイン	直売所（野菜類）については客数が回復傾向にある。
	ドライブイン	新型コロナウイルスに対する不安から、全体的にお金を使わない傾向がさらに強まっている。
	ゴルフ場	6月に入り、交通量が全般的に増えてきた。商業施設などの来場も増えてきている。
	理・美容店	地域によると思うが消毒にはかなり気を使っている感じである。情報が溢れすぎて何を信用していいのかわからない。
	商店街代表者	今年の夏のボーナスが、新型コロナウイルスの影響により一部の企業で減額の方角で見直されている。しかし、政府による「特別定額給付金」の支援が始まっているので、それをある程度消費に回してもらえると、景気の悪化を止める一助となると思われる。
設計事務所	皆忙しいと言っている。しかし、内容をよく見聞きすると、ペースの乱れに起因するものと思われる。	
設計事務所	新型コロナウイルスの影響で売れない、人が集まらないなどの事態により、企業が事業差し控えや廃業など、年内に数値として表れなければ判断ができない景気の後退が心配である。	

企業	農業関係者	地元の飲食業界が厳しすぎる。テイクアウトだけの取り組みだけでは、閉店、撤退が増加するかもしれない。
	製造業（窯業・土石製品）	アルコール消毒等のコロナ対策関連商品も少しずつ値下がりしているようなので、秋頃までにはある程度回復しているのではないかと感じる。
	製造業（非鉄金属）	新型コロナウイルスの影響で自粛が続き、自動車の販売が減って当社の製品が売れない。
	製造業（窯業・土石製品）	多くの事業所が営業の継続を危惧している。
	製造業（窯業・土石製品）	父の日に娘夫婦の招待でつくば市のステーキ店へ行ったところ、客が満席でびっくりした。飲食店は新型コロナウイルスの影響で客が来ないとマスコミ等で聞いていたのだが、その店は私たちが入店してから店を出るまでずっと客が絶えることがなかった。決して安くない品単価なのだが、価格以上のお値打ち感や満足感があると思った。自分の商法にどう生かすかを思案しながら、帰路に着いた。見るものすべてが参考になり活用したいと思う。
	製造業（金属製品）	新型コロナウイルスに関連する影響は、県西地区でも大きく、特に自動車部品に特化している業者は厳しい。継続できるだろうか。
	建設業	最近耳にするのは、材料の入手の遅れで工事が遅れる事があるようだ。
	不動産業	3, 4, 5月は来店客が少なかったが、同時に解約も少なかった。
雇用	サービス業（コンサルタント業）	飲食店（酒・アルコール類の提供が主）の自粛から街の明かりが消えて非常に暗かった。また、我々の地域では車社会であるため、飲酒時には運転代行は必須であるが、夜の外出を皆控えていたため、需要がなく代行運転業者も休みになってしまい、増々外出ができなくなっており、夜の街にはお金が落ちないという悪循環が起こっていた。
	求人広告	外出する人が増えてきて、少しずつだが飲食店にも客が戻ってきているのを目にした。ただ、客が帰る時間は前よりも早いと感じている。
	人材派遣業	多くの企業で新規採用凍結の動きがある。また、派遣労働者を含む契約社員の契約更新ができない企業も増えている。
	学校就業関係者	新型コロナウイルス感染予防対策のため、食料品の買い出しは週に1回短時間で済ませている。外食も控えている。
	求人開拓員	新型コロナウイルスによる経済活動の停滞により、雇用がなくなった人からの相談が増えている状況である。